Panasonic

Bluetooth™アダプターキット

取扱説明書（DVスタジオ用）

保証書付き

品番 VW-BT1C

このたびは、Bluetooth™ アダプターキットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。また、別添付されている「取扱説明書（接続用）」も合わせてお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

MultiMediaCard™

松下電器産業株式会社
AVC ネットワーク事業グループ
〒 571-8505　大阪府門真市松生町 1 番 4 号
システム事業グループ
〒 571-8503　大阪府門真市松葉町 2 番 15 号

VQT9429
S0801Fy0（ 500Ⓐ）

もくじ

安全上のご注意　（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

分解や改造をしない

分解禁止

火災、感電、故障につながります。

- **修理や内部の点検は販売店にご相談ください。**

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

航空機内および周囲に電波障害が発生する場所では、Bluetooth™ アダプターをデジタル静止画端子へ装着しない

禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

磁気カードなどをBluetooth™ アダプターに近付けない

禁止

カードなどの内容が消去されるおそれがあります。

⚠警告

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではBluetooth™ アダプターをデジタル静止画端子へ装着しない。また、医療用電気機器を近付けない

禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くではBluetooth™ アダプターをデジタル静止画端子へ装着しない

禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は Bluetooth™ アダプターが取り付けられているデジカムの電源を切る

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

雷が鳴り出したら、本機の金属部などに触れない

接触禁止

落雷すると、感電につながります。

水をかけたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

内部に水が入ると、火災・感電・故障につながります。

- 水が入ったときは、販売店にご相談ください。
- 雨天、降雪中、海岸、水辺など、水がかかりやすいところで使うときは、ぬらさないようにご注意ください。

満員電車の中などの混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるので、Bluetooth™ アダプターをデジタル静止画端子へ装着しない

禁止

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

⚠警告

引火・爆発のおそれのある場所では Bluetooth™ アダプターをデジタル静止画端子へ装着しない

禁止

引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発・火災につながります。

自動車など、乗り物を運転しながら使わない

禁止

事故の誘発につながります。

● **歩きながら使うときも、周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。**

プラグを破損させない

禁止

無理なねじり、加工、重いものの下敷きなどは、プラグ破損の原因となり、火災・感電につながります。

対電磁波保護がされていない自動車内では使用しない

禁止

安全走行を損なうおそれがあります。

● **自動車販売店に対電磁波保護が十分にされているか確認してください。**

⚠注意

Bluetooth™ アダプターの上に重いものを置いたり、乗ったりしない

禁止

重量で外装ケースが変形し内部部品が破損すると、火災・感電のおそれがあります。

電波障害の発生する場所では使わない

禁止

静電気の発生する場所、電子レンジの近辺など、電波が届かないことがあります。

⚠注意

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多いところ、振動が激しいところで使わない

禁止

水やほこりが入ったり、振動などで内部部品が損傷すると火災・感電のおそれがあります。

- ３年に一度くらいは、販売店に点検をご相談ください。（特に湿度が高くなる梅雨期の前に点検をすると効果的です）
- 費用についても、そのときお確かめください。

高温になるところに放置しない

禁止

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60 ℃以上）になります。絶対に放置しないでください。熱で外装ケースが変形し内部部品が破損すると、火災・感電のおそれがあります。

金属類を内部に入れない

禁止

ショートし、内部部品が破損すると、火災・感電のおそれがあります。

急激な温度変化を与えない

禁止

結露が生じ、故障、誤動作につながります。

極端に低温になるところに放置しない

禁止

故障、誤動作につながります。

使用上のお願い

用途制限について

●本製品は人の生命に直接関わる装置等（*1）を含むシステムに使用できるよう開発・制作されたものではないので、それらの用途に使用しないこと。

*1: 人の生命に関わる装置等とは、以下のものを言います。
（生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器）

●本製品を、人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステム (*2) に使用する場合は、システムの運用、維持、管理に関して、特別な配慮 (*3) が必要です。

*2: 人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステムとは、以下のようなものを言います。
（原子力発電所の主制御システム、原子力施設の安全保護システム、その他安全上重要な系統及びシステム）
（集団輸送システムの運転制御システムおよび航空管制制御システム）

*3: 特別な配慮とは、当社技術者と十分な協議を行い、安全なシステム（フール・プルーフ設計、フェール・セーフ設計、冗長設計する等）を構築することを言います。

機器認定表示について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。

・本製品を分解 / 改造すること
・本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと

本製品の使用上の注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

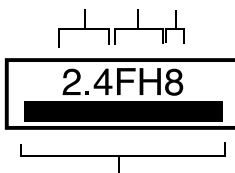
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止し電波干渉を避けてください。

3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：お客様相談センター 0120-878-365（フリーダイヤル）

2.4GHz 帯を使用している他のネットワークが近くで通信を行っている場合、通信性能が低下することがあります。

表示記号の説明

デジカム用 Bluetooth™ アダプターの裏面

① 2.4GHz 帯を使用する無線設備を表します。
②変調方式が「FH-SS 方式」であることを表します。
③想定される与干渉距離が 80m 以下であることを表します。
④ 2,400MHz ～ 2,483.5MHz の全帯域を使用し､かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを表します。

本製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。
This product can not be used in foreign country as designed for Japan only.

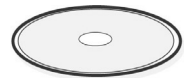
はじめに

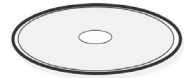
この取扱説明書は、DV STUDIO Version 3.0J for Bluetooth™ の使用方法について説明しています。Bluetooth™ によるパソコンとの接続の方法などについては「取扱説明書（接続用）」をご覧ください。

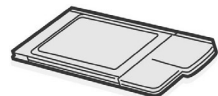
- Microsoft® Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Pentium®、Celeron™ は Intel Corporation の各国での登録商標もしくは商標です。
- Bluetooth™ 商標は、Bluetooth SIG 社（アメリカ）によって所有され、松下電器産業株式会社に許可された商標です。
- その他、記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標もしくは商標です。
- ご使用のパソコンの使用環境などにより本説明書の説明内容・画面と実際の内容・画面が一致しないことがあります。あらかじめご了承ください。
- パソコンの基本的な操作、用語については説明しておりません。パソコン側の説明書などをお読みください。
- 本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
- 本書では、パナソニック製のデジタル静止画端子付デジタルビデオカメラと、デジタルビデオレコーダーをデジカム、DV STUDIO Version 3.0J for Bluetooth™ を DV スタジオ 3 と記載します。

内容物の確認

- **CD-ROM (DV STUDIO Version 3.0J for Bluetooth™)**

  DV STUDIO Version 3.0J for Bluetooth™
  ArcSoft PhotoImpression™ 2000
  ArcSoft Panorama Maker™ 2000
  ArcSoft PhotoMontage™ 2.0
  Adobe® Acrobat® Reader™ 5.0
  取扱説明書（DV スタジオ用）［PDF ファイル］
  取扱説明書（接続用）［PDF ファイル］

- **CD-ROM (Bluetooth™ Software Suite)**

  Bluetooth™ Software Suite
  Bluetooth™ PC Card 用ドライバー
  Bluetooth™ Ethernet Adapter 用ドライバー

- **パソコン用アダプター**

  詳しくは「取扱説明書（接続用）」の「内容物の確認」をご覧ください。

- **デジカム用 Bluetooth™ アダプター**

- **取扱説明書**

  DV スタジオ用
  接続用

特長

「Bluetooth™ アダプターキット」は、デジカムのデジタル静止画端子を通して付属のBluetooth™ アダプターを使い、テープや SD メモリーカード、マルチメディアカード、デジカムの静止画像を無線でパソコン上に取り込み、編集加工ができるデジカム活用キットです。

DV STUDIO Version 3.0J for Bluetooth™
パソコンからデジカムをコントロールして、テープやメモリーカード、デジカムのお好みの静止画像をパソコン上に取り込み、サムネイル * を一覧表示できます。
また、フォトショット自動取り込みやインターバル取り込みもできます。
CD-ROM にはサンプルデータが入っています。

* サムネイルとは画像を小さく表示したものです。

ArcSoft Software Suite（編集・加工ソフト）

ArcSoft PhotoImpression 2000
静止画の編集、加工、印刷ができます。アルバム単位で画像を保存できます。

ArcSoft Panorama Maker 2000
静止画像を複数枚組み合わせてパノラマ写真に合成できます。

ArcSoft PhotoMontage 2.0
多くの静止画像を組み合わせて 1 枚の目的の画像に合成できます。

Bluetooth™ Software Suite（Bluetooth™ **通信制御ソフト）**

Bluetooth Neighborhood
Bluetooth™ 機器の検出や通信に必要な各種の設定ができます。

※ Bluetooth Neighborhood の使い方については**「取扱説明書 (接続用)」**をご覧ください。

※ DV STUDIO Version 3.0J for Bluetooth™ についての商品に関する情報は、ホームページをご覧ください。
http://www.panasonic.co.jp

● 対象機種:Bluetooth™ アダプター対応Panasonicデジタルビデオカメラ*（日本国内向 NTSC専用）
*2001 年６月以降発売商品 NV-DS88K、DS88PK、MX1000、MX2500、EX21 (2001 年８月現在)

動作環境 / 仕様

動作環境

対象パソコンおよび OS：	Pentium® Ⅱ または Celeron™300MHz 以上の CPU（互換 CPU を含む）を搭載し、Microsoft® Windows® Me および Windows® 98 Second Edition 日本語版がプリインストールされた DOS/V パソコン
グラフィック表示：	High Color（16bit）以上（True Color(24bit) 以上を推奨） （ご使用のパソコンの環境により、High Color（16bit）では、階調が正常に表示できない場合があります） デスクトップ領域 800 × 600 以上
搭載メモリ：	64MB 以上
ハードディスク：	50MB 以上の空き容量 （DV STUDIO Version 3.0J for Bluetooth™、Bluetooth Software Suite をインストールした場合） 300MB 以上の空き容量 （全てのソフトウェアをインストールした場合）
ディスクドライブ：	CD-ROM ドライブ
PC カードスロット：	PC Card Standard Type Ⅱ 準拠
その他：	マウスまたはマウスと同等のポインティングデバイス

（MS P ゴシックフォント、MS ゴシックフォントがシステムにインストールされていないと文字が正しく表示されません。インストールされていない場合は、Windows の説明書を参照してフォントをインストールしてください）

- デジカムから取り込んだ画像は、メモリーカードに記録されたメガピクセル画像など、640 × 480 以上の解像度の画像でも、640 × 480 相当の解像度になります。
- 上記の推奨動作環境を満たしていても、一部ご使用になれないパソコンがあります。

仕様

■ デジカム用 Bluetooth™ アダプター

通信方式：	Bluetooth™ Ver.1.1
サポート Profile：	Generic Access、Service Discovery、Serial port
通信距離：	10m（Class2 準拠）
外形寸法：	33 × 73.2 × 10 mm（プラグ先端までの高さ 28.3 mm）

パソコン用アダプターについては「取扱説明書（接続用）」の「仕様」（P10）をご覧ください。

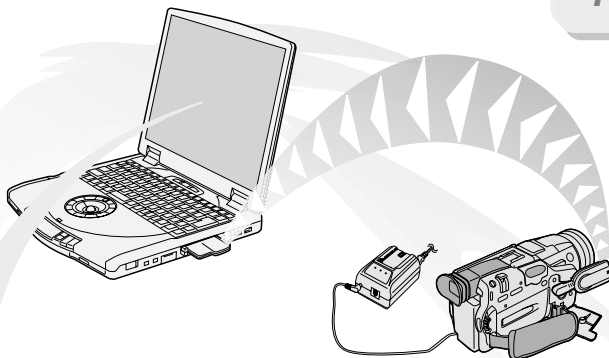
DV STUDIO Version 3.0J for Bluetooth™の楽しみかた

■ DV スタジオ３を使う前に、操作の流れを簡単に紹介します。

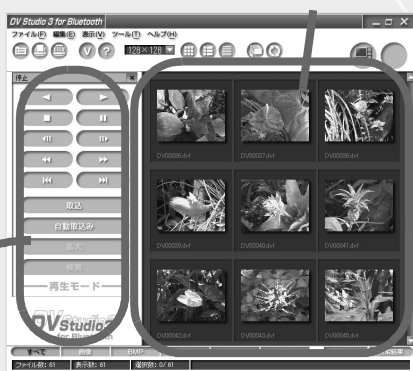
1. まずは…
パソコンとデジカムを接続する
P13 ― P17

2 . つぎに…
デジカムの画像をパソコンに取り込む
P18 ― P29

3. 取り込んだ画像で…
DV スタジオ 3 を活用する
P30 ― P43

取り込んだ画像はここに表示されます

デジカムのモードに合わせて取り込む！

- 再生モード（**P18**）
- 撮影モード（**P23**）
- カード再生モード（**P26**）

モードによってこの部分が変わります

自動取込機能でいろいろな取り込みが可能に！

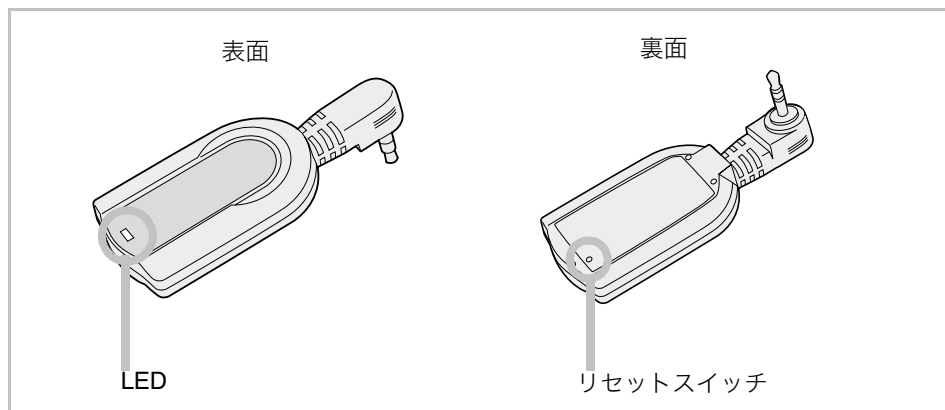
- 撮影モードで離れたカメラからの静止画の受信 **(P23)**
- フォトショット画像の取り込み（**P22**）
- 一定の時間ごとのインターバル取り込み（**P22**）
- 表示用簡易画像での取り込み（**P29**）

さらに、こんなことも・・・

- JPEG や BMP 形式に変換して編集・加工ができます。（**P35**）
- 画像を次々に表示させるスライドショーを楽しめます。（**P39**）
- 画像印刷やフォルダごとのインデックス印刷ができます。（**P41, 42**）
- テープやメモリーカードのインデックスとしても活用できます。（**P29**）

接続する前に

デジカム用 Bluetooth™ アダプターについて

デジカム用Bluetooth™ アダプターはデジカムのデジタル静止画端子から供給される電源で動作します。電源が入っているデジカムに接続しているときにのみ動作します。

LED
点灯・点滅することにより、動作の状態を示します。

一瞬点灯：　デジカムの電源を入れたとき、または電源の入っているデジカムに装着したとき、一瞬点灯します。
点滅：　通信中は常に点滅しています。
接続されている状態ではゆっくり点滅
静止画転送中は早い点滅

リセットスイッチ
Bluetooth™ 認証設定を初期状態に戻すときに使用します。**(P49)**
先の細いもので押してください。
押すと LED が点灯します。消灯するまで押し続けてください。

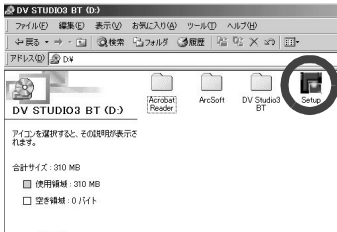
● 接続端子の根元部分に無理な力を加えて曲げないでください。

DV スタジオ 3 をインストールする

重要

Windows 上で起動しているすべてのソフト（ウィルス検出ソフトの様な常駐しているソフトも含む）は終了させておいてください。インストールできなくなることがあります。

1

3

1 CD-ROM を入れる

CD-ROM 内の［Setup.exe］をダブルクリックします。

- Windows 上で起動しているすべてのソフト（常駐ソフトも含む）を終了しておいてください。

2 ［DV Studio 3 for Bluetooth］が選択されている（左側に［◎］が付きます）ことを確認し、［開始する］をクリックする

DV スタジオ 3 のインストールがはじまります。

- ［DV Studio 3 for Bluetooth］上をクリックするごとに選択 / 解除できます。
- ［ArcSoft Software Suite］も選択すると付属ソフトも同時にインストールできます。**（P15）**

表示されている内容をよくお読みのうえ指示にしたがってインストールしてください。

3 ［完了］をクリックしてインストールを完了する

付属ソフトも選択した場合は続けてインストールがはじまります。

- READ ME ファイルは必ずお読みください。

- DVスタジオ3がご不要になった場合は、**P43**をお読みください。

付属ソフトをインストールする

画像を編集・加工するには、付属のレタッチソフトなど（ArcSoft PhotoImpression 2000、ArcSoft Panorama Maker 2000、ArcSoft PhotoMontage 2.0）のインストールが必要です。

重要

Windows 上で起動しているすべてのソフト（ウィルス検出ソフトの様な常駐しているソフトも含む）は終了させておいてください。インストールできなくなることがあります。

1

1 CD-ROM を入れる

CD-ROM 内の［Setup.exe］をダブルクリックします。

- Windows 上で起動しているすべてのソフト（常駐ソフトも含む）を終了しておいてください。

2

2 ［ArcSoft Software Suite］をクリックして選択し（左側に［◎］が付きます）、［開始する］をクリックする

付属ソフトのインストールが始まります。

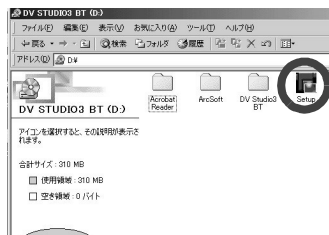
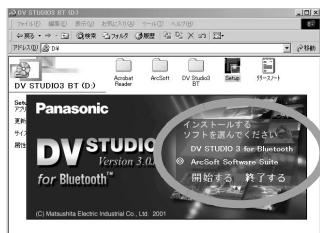
表示されている内容をよくお読みのうえ指示にしたがってインストールしてください。

- インストールの途中で、インストールするコンポーネントを選択し、特定のソフトだけをインストールすることも可能です。

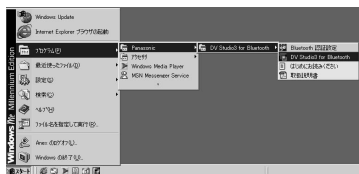
3

3 ［セットアップの完了］ダイアログが出たら、［完了］をクリックする

付属ソフトのインストールが完了します。

- 付属ソフトの使用方法については、それぞれのソフトのヘルプをお読みください。
- 付属ソフトがご不要になった場合は、**P43** をご覧ください。

DV スタジオ 3 を起動する

DV スタジオ３を起動する前に必ずデジカムとパソコン間を Bluetooth™ 接続しておいてください。詳しくは「取扱説明書（接続用）」をご覧ください。

パソコンとデジカム間の Bluetooth™ 接続が成立している状態で次のように操作してください。

1 **［スタート］→［プログラム］→［Panasonic］→［DV Studio3 for Bluetooth］→［DV Studio3 for Bluetooth］を選択する**

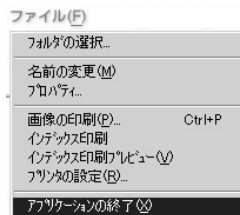
最初に使用する前に［スタート］→［プログラム］→［Panasonic］→［DV Studio 3 for Bluetooth］→［はじめにお読みください］を選び、補足説明や最新情報を必ずお読みください。

- 最初の起動時にエラーメッセージが出ることがあります。［はい］をクリックして起動操作を続けてください。
- デスクトップ上の DV スタジオ 3 のショートカットアイコンをダブルクリックして起動することもできます。

インストールされた取扱説明書を読むためには Adobe Acrobat Reader4.0 以上が必要です。ご使用のパソコンに Adobe Acrobat Reader4.0 以上がインストールされていない場合は、DV STUDIO 3.0J for Bluetooth™ と表示されている CD- ROM(VFF0124) の中の［Acrobat Reader］フォルダー内にある［ar500jpn.exe］をダブルクリックし、表示内容に従ってインストールしてください。

DV スタジオ 3 を終了する

1 **［ファイル］→［アプリケーションの終了］を選ぶ**

DV スタジオ 3 の右上の［×］をクリックして終了することもできます。

DV スタジオ 3 の画面について

❶ **[DV 操作バー]**
接続しているデジカムを操作します。また画像の取り込みや、取り込んだ画像の拡大表示・検索をします。**(P18, 23, 26)**

❷ **[表示種類バー]**
画像表示部に表示する画像の種類を選択できます。選択した種類の画像のみを表示します。**(P45)**

❸ **[ツールバー]**
それぞれのボタンをクリックして様々な操作ができます。**(P44)**

❹ **画像表示部**
フォルダー内の BMP、JPEG、DVF、TITLE ファイルをサムネイルで表示します。その他のファイルはアイコン表示されます。ファイルデータなどで表示することもできます。
・フォルダー内の画像数が多い場合、サムネイル表示されるまでに時間がかかります。

❺ **[ステータスバー]**
登録されている画像ファイル数、表示数、現在選択されているファイル数などの情報を表示します。**(P45)**

● 画像表示部以外は、[表示] メニューから表示 / 非表示を選択することができます。
● ご使用のパソコンによっては、画像表示部でホイールマウスでのスクロールができない場合があります。

DV スタジオ 3 を使う（再生モード）

操作部分について

接続しているデジカムで対応していない機能は使うことができません。

1 逆再生ボタン［◀］

2 再生ボタン［▶］

3 停止ボタン［■］

4 一時停止ボタン［❚❚］
テープ再生を一時停止し、静止画再生します。

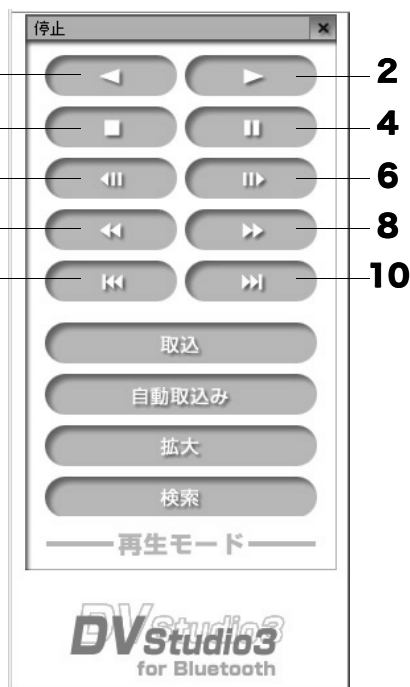
5 コマ戻しボタン［◀❚❚］
静止画再生中に押すと、画像を一コマ戻します。

6 コマ送りボタン［❚❚▶］
静止画再生中に押すと、画像を一コマ進めます。

7 巻き戻しボタン［◀◀］
テープを巻き戻します。
再生中に押すと、巻き戻し再生します。

8 早送りボタン［▶▶］
テープを早送りします。
再生中に押すと、早送り再生します。

9 逆フォトサーチボタン［❙◀◀］
フォトショット撮影した画像を始端方向に検索します。

10 正フォトサーチボタン［▶▶❙］
フォトショット撮影した画像を終端方向に検索します。

11［取込］ボタン
テープの画像を取り込みます。

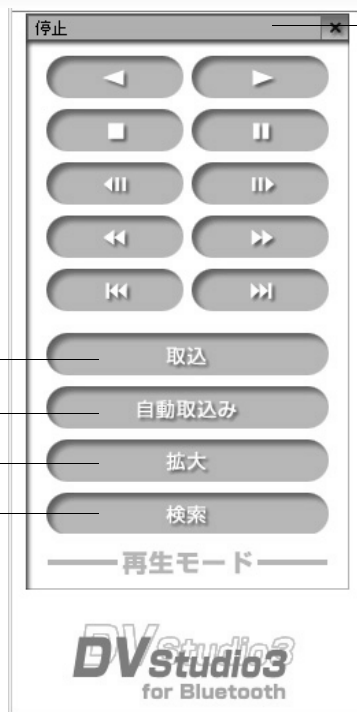
12［自動取込み］ボタン
［自動取込形式設定］に従い、テープの画像を自動で取り込みます。**(P22)**

13［拡大］ボタン
画像を拡大して表示します。**(P36)**
（簡易画像の拡大については **P29** をお読みください。）

画像をダブルクリックして拡大表示することもできます。（この場合BMP, JPEG 形式などの画像は関連付けされたアプリケーションで拡大表示されます）

14［検索］ボタン
パソコンに取り込まれた画像の、テープに記録されている位置を検索します。
（検索したい画像が記録されているテープをデジカムにセットしておいてください）
検索された画像の位置からテープの再生をはじめます。
検索方法については **P29** をお読みください。

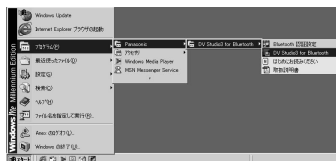
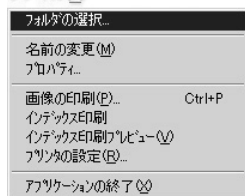
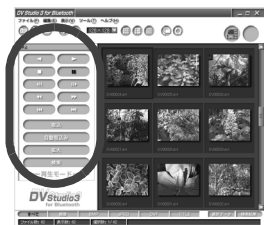
15 デジカムの状態表示
接続しているデジカムの状態を表示します。

● デジカムの電源が自動で切れるなどしたあと、Bluetooth™ 接続をやりなおしてください（「取扱説明書（接続用）」をご覧ください）。そのあと、メニューの［ツール］→［接続］を選択して接続しなおしてください。**(P47)**

静止画を取り込む

デジカムのテープに記録してある画像を静止画としてパソコンに取り込みます。画像の取り込み方法には任意の［取込］と［自動取込み］があります。

あらかじめ、取り込みたい画像が記録されたテープをデジカムに入れ、パソコンと Bluetooth™ 接続しておいてください。

1 **デジカムを再生モードにして DV スタジオ 3 を起動する**

1

2 **メニューの［ファイル］→［フォルダの選択］をクリックして、画像を保存するフォルダを選択する**

- DV スタジオ 3 を起動したときは前回開いていたフォルダーが画像表示部に表示されます。
- フォルダーの新規作成については **P32** をお読みください。

画像表示部に、選択されたフォルダー内の画像が表示されます。

2

3 **操作ボタンで取り込みたい画像をさがし、静止画再生にする (P18)**

- 再生ボタン［▶］をクリックしてテープを再生し、取り込みたい画像のところで一時停止ボタン［❚❚］をクリックして静止画再生にします。

3

4 **［取込］ボタンをクリックする**

画像取り込みを開始します。
取り込みが終了すると、取り込んだ画像が前面に大きく表示され、同時に画像表示部に追加されます。

4

- 取り込みを中止するには［キャンセル］をクリックします。
- デジタル再生効果を含んだ画像の取り込みはできません。

DV スタジオ 3 側には再生画像は表示されません。デジカムのファインダーやモニターで確認してください。

自動で静止画を取り込む

設定した形式で画像を取り込むことができます。
あらかじめ、取り込みたい画像が記録されたテープをデジカムに入れ、パソコンと Bluetooth™ 接続しておいてください。

1 **デジカムを再生モードにして DV スタジオ 3 を起動する**

2 **メニューの［ファイル］→［フォルダの選択］をクリックして、画像を保存するフォルダーを選択する**

● DV スタジオ 3 を起動したときは前回開いていたフォルダーが画像表示部に表示されます。
● フォルダーの新規作成については **P32** をお読みください。

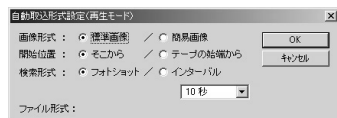
画像表示部に、選択されたフォルダー内の画像が表示されます。

3 **［自動取込み］ボタンをクリックする**

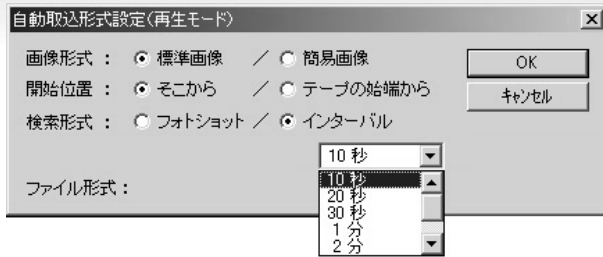
［自動取込形式設定（再生モード）］画面が表示されます。

4 **自動取込みの設定をし（P22）、［OK］ボタンをクリックする**

設定に従って自動的に画像が取り込まれます。
取り込んだ画像は前面に大きく表示され、順に画像表示部に追加されます。

● 自動取込みの設定で［簡易画像］を選ぶと画像は大きく表示されません。

● 自動取込みの設定で［開始位置］に［そこから］を選ぶ場合は、あらかじめ取り込みを始めたい位置で静止画再生にしておいてください。
● 取り込みを中止するには［キャンセル］をクリックします。
● インターバルタイムにはわずかな誤差が発生することがあります。
● 自動取込みを開始して最初の画像は取り込めないことがあります。
● デジタル再生効果を含んだ画像の取り込みはできません。

自動取り込みの設定内容

デジカムのモードによって選択できる項目が異なります。

[画像形式]：

[標準画像]

静止画標準データを取り込みます。拡張子は .dvf です。

[簡易画像]

表示用の簡易画像データを取り込みます。拡張子は .dcf です。

簡易画像については **P29** をお読みください。

- 簡易画像形式は、表示用小画面データとして短時間で画像を取り込むことができます。
- サムネイル画像が、96 × 96 または 128 × 128 の大きさで表示されているとき、簡易画像は他の画像に比べて小さく表示されます。

[開始位置]：

[そこから]

現在のテープ位置（カード再生モードの場合は、現在表示されている画像）から画像の自動取り込みを開始します。

[テープ始端から／カードの最初から]

テープを始めまで巻き戻してから画像の自動取り込みを開始します。
カード再生モードの場合は、メモリーカードに記録されている最初の画像から自動取り込みを開始します。

[検索形式（カード再生モードにはこの設定はありません）]：

[フォトショット]

フォトショット撮影された画像、またはメモリーカードからテープにコピーされた静止画を検索し、取り込みを行ないます。

[インターバル]

［▼］をクリックして指定した時間ごとに、画像の取り込みを行ないます。
再生モード：10 秒、20 秒、30 秒、1 分、2 分、3 分、5 分から選択できます。
撮影モード：連続、1 分、2 分、3 分、5 分、10 分から選択できます。
（インターバルタイムにはわずかな誤差が発生することがあります）

- デジカムのメニューの「カウンタモード」は「カウンタメモリ」以外にしてください。「カウンタメモリ」にしていると、自動取込み中にカウンターが［0:00.00］の位置でテープが停止する場合があります。

（撮影モード）

操作部分について

1 ［カメラ静止画］ボタン
デジカムを静止画の状態にします。再度クリックすると撮影の状態に戻ります。

2 ［ズームイン］ボタン
クリックするごとに画像を大きく表示します。

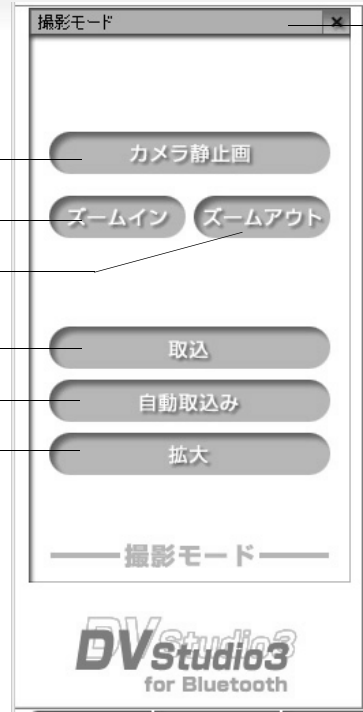
3 ［ズームアウト］ボタン
クリックするごとに画像を広く（広角に）表示します。

4 ［取込］ボタン
デジカムで撮影されている画像を取り込みます。

5 ［自動取込み］ボタン
［自動取込形式設定］に従い、デジカムで撮影されている画像を自動で取り込みます。**(P22)**

6 ［拡大］ボタン
画像を拡大して表示します。**(P36)**

画像をダブルクリックして拡大表示することもできます。（この場合BMP, JPEG 形式などの画像は関連付けされたアプリケーションで拡大表示されます）

7 デジカムの状態表示
接続しているデジカムの状態を表示します。

- このモードで画像を取り込む場合は、デジカムからテープおよびメモリーカードを抜いておいてください。テープやメモリーカードが入っていると、一定時間後に自動でデジカムの電源が切れます。自動で電源が切れたあと、Bluetooth™ 接続をやりなおしてください。（「取扱説明書（接続用）」をご覧ください）そのあと、メニューの［ツール］→［接続］を選択して接続しなおしてください。**(P47)**
- このモードではデジカムのデモモードは OFF にしておいてください。

カメラの静止画を取り込む

デジカムを撮影モードにすると、デジカムで撮影されている画像を静止画としてパソコンに取り込むことができます。

あらかじめ、デジカムとパソコンを Bluetooth™ 接続しておいてください。

1

1　デジカムを撮影モードにして DV スタジオ 3 を起動する

2

2　メニューの［ファイル］→［フォルダの選択］をクリックして、画像を保存するフォルダーを選択する

- DV スタジオ 3 を起動したときは前回開いていたフォルダーが画像表示部に表示されます。
- フォルダーの新規作成については **P32** をお読みください。

画像表示部に、選択されたフォルダー内の画像が表示されます。

3

3　デジカムに撮影したいものを映し、［カメラ静止画］ボタンをクリックする

現在撮影されている画像が静止画の状態になります。
もう一度押すと通常の撮影画像に戻ります。

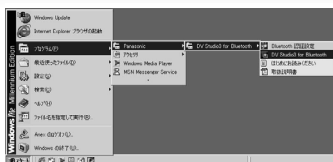
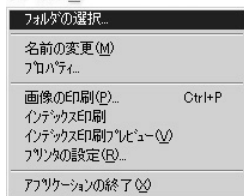
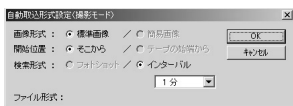
4

4　［取込］ボタンをクリックする

画像取り込みを開始します。
取り込みが終了すると、取り込んだ画像が前面に大きく表示され、同時に画像表示部に追加されます。

- 取り込みを中止するには［キャンセル］をクリックします。
- デジカムのプログレッシブフォトショット機能を［オート］にした場合、条件によってはプログレッシブフォトショット効果のない画像を取り込む場合があります。詳しくはデジカムの取扱説明書をお読みください。

自動でカメラの静止画を取り込む

デジカムで撮影されている画像を、設定した形式で静止画としてパソコンに取り込むことができます。
あらかじめ、デジカムとパソコンを Bluetooth™ 接続しておいてください。

1 **デジカムを撮影モードにして、DV スタジオ 3 を起動する**

2 **メニューの［ファイル］→［フォルダの選択］をクリックして、画像を保存するフォルダーを選択する**

- DV スタジオ 3 を起動したときは前回開いていたフォルダーが画像表示部に表示されます。
- フォルダーの新規作成については **P32** をお読みください。

画像表示部に、選択されたフォルダー内の画像が表示されます。

3 **デジカムに撮影したいものを映す**

4 **［自動取込み］ボタンをクリックする**

［自動取込形式設定（撮影モード）］画面が表示されます。

5 **［インターバル］の設定をし（P22）、［OK］ボタンをクリックする**

［カセットを取り出してください。］の注意表示が出ます。

6 **［OK］ボタンをクリックする**

設定した時間ごとに自動的に画像が取り込まれます。
取り込んだ画像は前面に大きく表示され、順に画像表示部に追加されます。

- 自動取込みの設定内容については、再生モードの「自動取り込みの設定内容」をお読みください。**（P22）**
- 取り込みを中止するには［キャンセル］をクリックします。
- ［DV 転送中 ....］が表示されている間は［キャンセル］以外の操作を受け付けません。

1

2

4

5

6

（カード再生モード）

操作部分について

1 一枚画像［戻し］ボタン
クリックするたびに一つ前の画像に戻ります。
マルチ画面表示のときは、選択枠が前の画像に移動します。

2 一枚画像［送り］ボタン
クリックするたびに一つ次の画像に進みます。
マルチ画面表示のときは、選択枠が次の画像に移動します。

3 マルチ画像［戻し］ボタン
クリックするたびに一つ前のマルチ画面表示に戻ります。

4 マルチ画像［送り］ボタン
クリックするたびに一つ次のマルチ画面表示に進みます。

5 マルチ画面切り替えボタン
［マルチ画面 入／切］
画面をマルチ画面表示に切り替えます。（もう一度クリックするともとの表示に戻ります）

6 ［取込］ボタン
メモリーカードの静止画を取り込みます。

7 ［自動取込み］ボタン
［自動取込形式設定］に従い、メモリーカードの静止画を自動で取り込みます。**(P22)**

8 ［拡大］ボタン
画像を拡大して表示します。**(P36)**
（簡易画像の拡大については **P29** をお読みください。）

画像をダブルクリックして拡大表示することもできます。（この場合 BMP, JPEG 形式などの画像は、関連付けされたアプリケーションで拡大表示されます）

9 ［検索］ボタン
パソコンに取り込まれた画像の、メモリーカードに記録されている位置を検索します。（検索したい画像が記録されているメモリーカードをデジカムにセットしておいてください）検索方法については **P29** をお読みください。

10 デジカムの状態表示
接続しているデジカムの状態を表示します。

● デジカムの電源が自動で切れるなどしたあと、Bluetooth™ 接続をやりなおしてください（「取扱説明書（接続用）」をご覧ください）。そのあと、メニューの［ツール］→［接続］を選択して接続しなおしてください **(P47)**。

メモリーカードの画像を取り込む

デジカムをカード再生モードにすると、メモリーカードに記録してある静止画をパソコンに取り込むことができます。

あらかじめ、取り込みたい画像が記録されたメモリーカードをデジカムに装着して、パソコンと Bluetooth™ 接続しておいてください。

1

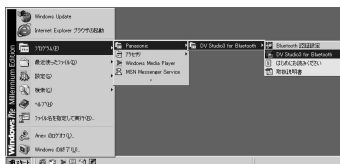
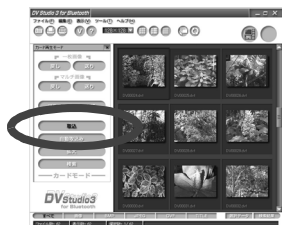
1 デジカムをカード再生モードにして、DV スタジオ 3 を起動する

2

2 メニューの［ファイル］→［フォルダの選択］をクリックして、画像を保存するフォルダーを選択する

- DV スタジオ 3 を起動したときは前回開いていたフォルダーが画像表示部に表示されます。
- フォルダーの新規作成については **P32** をお読みください。

画像表示部に、選択されたフォルダー内の画像が表示されます。

3

3 操作ボタンを使って取り込みたい画像を選択する（P26）

- 一枚画像［戻し］/［送り］ボタンを使って画像を 1 枚ずつ前後に送って選びます。メモリーカードに記録してある画像数が多いときは、［マルチ画面 入／切］ボタンをクリックしてマルチ画像表示にします。一度に 6 枚の画像を表示し、マルチ画像［戻し］/［送り］ボタンを使って、6 枚ずつ前後に送ってさがすことができます。

4

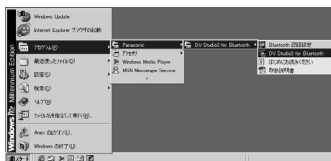
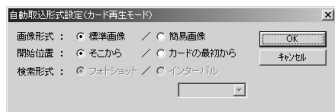
4 ［取込］ボタンをクリックする

画像取り込みを開始します。
取り込みが終了すると、取り込んだ画像が前面に大きく表示され、同時に画像表示部に追加されます。

- 取り込みを中止するには［キャンセル］をクリックします。
- デジカムがスライド再生中、画像取り込みはできません。

自動でメモリーカードの画像を取り込む

メモリーカードに記録してある静止画を、設定した形式でパソコンに取り込むことができます。

あらかじめ、取り込みたい画像が記録されたメモリーカードをデジカムに装着して、パソコンと Bluetooth™ 接続しておいてください。

1 **デジカムをカード再生モードにして、DV スタジオ 3 を起動する**

2 **メニューの［ファイル］→［フォルダの選択］をクリックして、画像を保存するフォルダーを選択する**

- DV スタジオ 3 を起動したときは前回開いていたフォルダーが画像表示部に表示されます。
- フォルダーの新規作成については **P32** をお読みください。

画像表示部に、選択されたフォルダー内の画像が表示されます。

3 **［自動取込み］ボタンをクリックする**

［自動取込形式設定（カード再生モード）］画面が表示されます。

4 **自動取込みの設定をし（P22）、［OK］ボタンをクリックする**

設定に従って自動的に画像が取り込まれます。取り込んだ画像は前面に大きく表示され、順に画像表示部に追加されます。

- 自動取込みの設定で［簡易画像］を選ぶと画像は大きく表示されません。

- 自動取込みの設定で［開始位置］に［そこから］を選ぶ場合は、あらかじめ取り込みを始めたい画像を選択しておいてください。
- 自動取込みの設定内容については、再生モードの「自動取込の設定内容」をお読みください。**（P22）**
- 取り込みを中止するには［キャンセル］をクリックします。
- デジカムがスライド再生中、画像取り込みはできません。

簡易画像について

自動取り込みで［簡易画像］を選択すると、表示用の簡易画像データとして短時間で静止画を取り込むことができます。

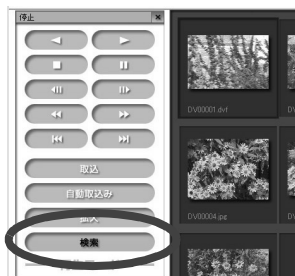
取り込んだ簡易画像データは、［DV 操作バー］の［拡大］ボタンをクリックすると、デジカム上で元の画像が記録されているテープまたはカード位置を検索し、標準画像として取り込みを始めます。
画像は取り込まれた後に拡大表示されます。
（画像をダブルクリックしても同様に拡大表示されます）

- 拡大表示したい画像が記録されているテープまたはメモリーカードを、デジカムにセットしておいてください。
- 簡易画像は他の画像に比べて小さく表示される場合があります。
- 簡易画像の拡張子は .dcf です。
- 簡易画像のファイル名は変更しないでください。拡大や検索ができなくなります。
- 簡易画像に該当する標準画像の検索は、録画年月日／日時で判別するため、撮影時にデジカム本体で「日時」設定がされていないと、簡易画像からの拡大ができない場合があります。
- 簡易画像形式以外の画像の拡大については **P36** をお読みください。

簡易画像データは、選択するフォルダーを変更したり DV スタジオ 3 を終了したりすると消去されます。必要な画像は必ず［拡大］ボタンをクリックして標準画像で取り込みなおしてください。

- テープやメモリーカードを抜いても簡易画像は消去されません。

画像の検索

パソコンに取り込まれた画像の、デジカムのテープやメモリーカードに記録されている位置を検索することができます。テープやメモリーカードのインデックスとして活用できます。

1　検索したい画像を選択する

検索したい画像が記録されているテープまたはメモリーカードをデジカムにセットし、モードを合わせます。

2　DV 操作バーの［検索］ボタンをクリックする

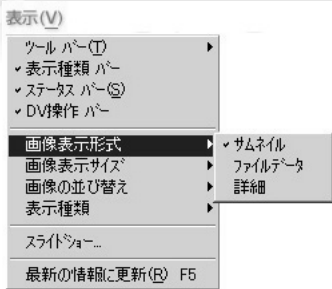
画像の位置の検索を開始します。
再生モードの場合、検索された画像位置からテープの再生を始めます。

- 一度に検索できる画像はひとつだけです。
- 検索を中止するときは［キャンセル］をクリックしてください。
- 未録画部分があるテープは、検索機能が正常に働かないことがあります。
- 画像を取り込んだときとテープやメモリーカードの状態が変更されている場合、検索機能が正常に働かない場合があります。
- 画像を右クリックし、コンテキストメニューから［画像の検索］を選択することもできます。

画像表示について

画像表示部の表示形式を変える

1

表示(V)
ツール バー(T)
表示種類 バー
ステータス バー(S)
DV操作 バー
画像表示形式
画像表示サイズ
画像の並び替え
表示種類
スライドショー...
最新の情報に更新(R) F5
サムネイル
ファイルデータ
詳細

1 ［表示］→［画像表示形式］から表示形式を選ぶ

[サムネイル]：
サムネイルとファイル名が表示されます。
- ツールバーの［ ］をクリックして表示することもできます。

[ファイルデータ]：
画像とファイル名、ファイルサイズ、種類、最終更新日、画像のサイズ、画像の使用色数が表示されます。
- ツールバーの［ ］をクリックして表示することもできます。

[詳細]：
ファイル名、サイズ、種類、更新日時、画像情報（画像のサイズ、画像の使用色数）が一覧表示されます。
- ツールバーの［ ］をクリックして表示することもできます。

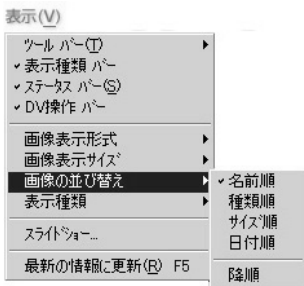
サムネイルの表示サイズを変える

1

表示(V)
ツール バー(T)
表示種類 バー
ステータス バー(S)
DV操作 バー
画像表示形式
画像表示サイズ
画像の並び替え
表示種類
スライドショー...
最新の情報に更新(R) F5
128x128
96x 96
64x 64
48x 48
32x 32

1 ［表示］→［画像表示サイズ］から表示サイズを選ぶ
- サイズは 5 種類から選べます。
- ツールバーの［▼］をクリックしてサイズを選ぶこともできます。

画像を並び替える

1

1 ［表示］→［画像の並び替え］から表示順を選ぶ

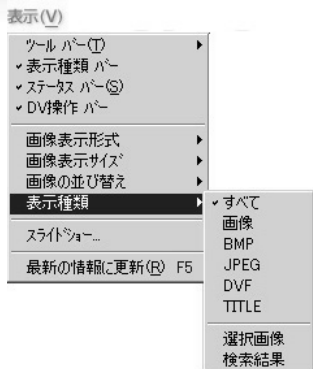
表示順に並びかたが変わります。

- ［名前順］、［種類順］、［サイズ順］、［日付順］、［降順］から選べます。
- ［降順］をチェックすると、選択した表示順の後ろから表示します。

任意の画像だけを表示する

1

表示(V)
ツール バー(T)
表示種類 バー
ステータス バー(S)
DV操作 バー
画像表示形式
画像表示サイズ
画像の並び替え
表示種類
スライドショー...
最新の情報に更新(R) F5
すべて
画像
BMP
JPEG
DVF
TITLE
選択画像
検索結果

1 **［表示］→［表示種類］から表示させたい画像形式を選ぶ**
選択した形式の画像だけ表示されます。

［すべて］ ：すべての画像を表示
［画像］ ：DV スタジオでサムネイル表示できる形式の画像を表示
［BMP］ ：BMP 形式（拡張子 .bmp）を表示
［JPEG］ ：JPEG 形式（拡張子 .jpg）を表示
［DVF］ ：デジタルビデオ形式を表示（DV スタジオ 3 で取り込むと、この形式で保存します）
［TITLE］ ：デジカムのタイトル画像（拡張子 .TTL）を表示
［選択画像］ ：選択した画像を表示
［検索結果］ ：検索時に検出された画像を表示

● ［表示種類バー］**(P45)** のボタンをクリックして表示する形式を選択することもできます。

フォルダー表示を更新する

画像をコピーしたり移動したりした後は、フォルダー表示を更新するようにしてください。

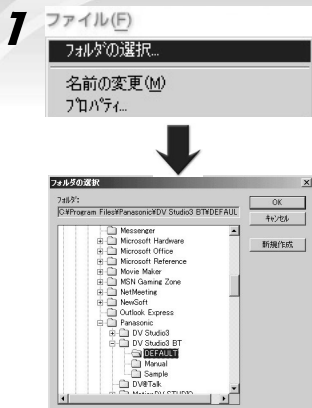
1

1 **［表示］→［最新の情報に更新］を選ぶ**

● ツールバーの［ ］をクリックして更新することもできます。

操作編Ⅱ

画像操作について

1

画像を選択する

1 ［ファイル］→［フォルダの選択］をクリックし、［フォルダの選択］画面で表示させたい画像が入ったフォルダーを選択し、［OK］ボタンをクリックする

画像表示部に、フォルダー内の画像が表示されます。

2 画像をクリックして選ぶ

選択した画像が青枠で囲まれます。

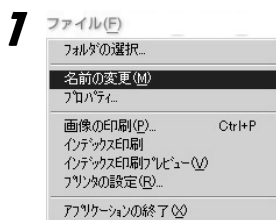
複数画像を選ぶ　：［Ctrl］キーを押しながらクリックして選択
連続した複数画像を選ぶ：［Shift］キーを押しながら最初の画像と最後の画像をクリックして選択
表示画像をすべて選ぶ：メニューの［編集］→［すべて選択］を選択
選択を解除する　：メニューの［編集］→［すべての選択を解除］を選択
選択画像と未選択画像を反転する：メニューの［編集］→［選択切り替え］を選択

1

新規フォルダーを作成する

1 ［ファイル］→［フォルダの選択］をクリックし、［フォルダの選択］画面で［新規作成］ボタンをクリックする

指定された位置に新規フォルダーが作成されます。

1

画像の名前を変更する

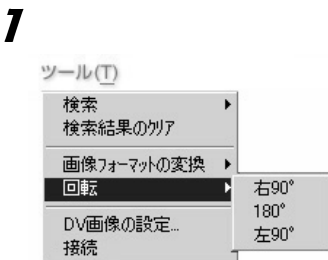
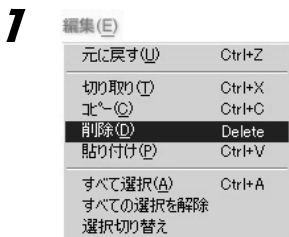
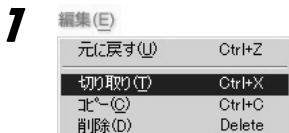
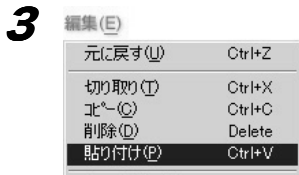
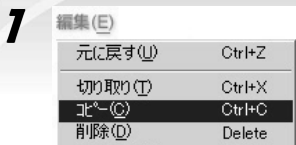
1 ファイル名を変更する画像を選び、メニューの［ファイル］→［名前の変更］を選ぶ

2 ファイル名を入力して［OK］ボタンをクリックする

● 画像を右クリックし、コンテキストメニューから［名前の変更］を選択することもできます。
● 画像表示部に表示された画像のファイル名部分をクリックして、ファイル名を変更することもできます。

画像を別のフォルダーにコピーする

1 編集(E)
元に戻す(U) Ctrl+Z
切り取り(T) Ctrl+X
ｺﾋﾟｰ(C) Ctrl+C
削除(D) Delete

3 編集(E)
元に戻す(U) Ctrl+Z
切り取り(T) Ctrl+X
ｺﾋﾟｰ(C) Ctrl+C
削除(D) Delete
貼り付け(P) Ctrl+V

1 **コピーする画像を選び、メニューの［編集］→［コピー］を選ぶ**

2 **［ファイル］→［フォルダの選択］でコピー先フォルダーを選択し［OK］ボタンをクリックする**
選択したフォルダー内の画像が表示されます。

3 **［編集］→［貼り付け］を選ぶ**

画像を別のフォルダーに移動する

1 編集(E)
元に戻す(U) Ctrl+Z
切り取り(T) Ctrl+X
ｺﾋﾟｰ(C) Ctrl+C
削除(D) Delete

3 編集(E)
元に戻す(U) Ctrl+Z
切り取り(T) Ctrl+X
ｺﾋﾟｰ(C) Ctrl+C
削除(D) Delete
貼り付け(P) Ctrl+V

1 **移動する画像を選び、メニューの［編集］→［切り取り］を選ぶ**

2 **［ファイル］→［フォルダの選択］で移動先フォルダーを選択し［OK］ボタンをクリックする**
選択したフォルダー内の画像が表示されます。

3 **［編集］→［貼り付け］を選ぶ**

● 移動した画像は［編集］→［元に戻す］を行っても元に戻すことはできません。

画像を削除する

1 編集(E)
元に戻す(U) Ctrl+Z
切り取り(T) Ctrl+X
ｺﾋﾟｰ(C) Ctrl+C
削除(D) Delete
貼り付け(P) Ctrl+V
すべて選択(A) Ctrl+A
すべての選択を解除
選択切り替え

1 **削除する画像を選び、メニューの［編集］→［削除］を選ぶ**
ファイル削除の確認メッセージが出ます。

2 **［はい］をクリックする**

● ［Delete］キーを押して削除することもできます。
● 削除した画像は Windows の［ごみ箱］に移動され、［編集］→［元に戻す］を行っても戻すことはできません。

画像を回転する

1

1 **変換したい画像をクリックして選択し、メニューの［ツール］→［回転］から回転する方向または角度を選ぶ**
左右へ90°、または180° 画像が回転します。

● 画像を右クリックし、コンテキストメニューから［回転］を選択することもできます。
● DVF 形式の画像を回転すると、BMP 形式の画像で作成されます。

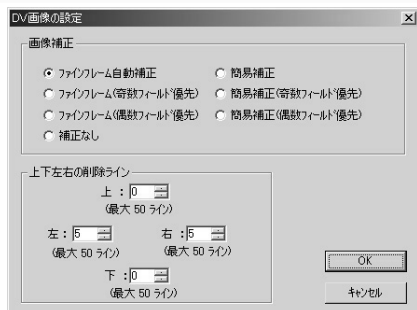
操作編Ⅱ

DV 画像の設定

パソコンに取り込んだ画像を BMP や JPEG 形式の画像に変換するとき、次のような設定ができます。

1 **メニューの［ツール］→［DV 画像の設定］を選択する**

［DV 画像の設定］画面が表示されます。

2 **必要な設定をして、［OK］ボタンをクリックする**

■［画像補正］

動画を静止画再生して取り込んだ場合に生じる、画像の輪郭のギザギザを補正します。
DVF 形式からの画像フォーマット変換時に有効です。

● ファインフレーム

1 フレーム内の 2 枚のフィールド間の動きを検出し、動きのある場合にはぶれが少なくなるように補正します。動きが少ない場合は 2 枚のフィールドを使用してフレームの解像度を保ちます。通常はこちらをお使いください。

● 簡易補正

画像のブレに関係なく、上下ラインの情報をもとにギザギザを補正します。

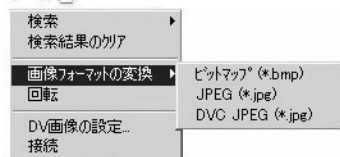
［補正なし］にすると、動きのある画像ではぶれが補正されずに目立つ場合があります。

■［上下左右の削除ライン］

取り込んだ画像の上下左右に、黒い枠が表示される場合があります。その黒枠をドット単位で削除することができます。枠補正値は 0-50 の値で入力します。
DVF 形式からの画像フォーマット変換時に有効です。

画像形式の変換

選択した画像のフォーマット形式を変換します。
画像形式の変換ができるのは、BMP 、JPEG、DVF 形式だけです。

ツール(T)
検索
検索結果のクリア
画像フォーマットの変換
回転
DV画像の設定...
接続
ビットマップ(*.bmp)
JPEG (*.jpg)
DVC JPEG (*.jpg)

1　変換したい画像をクリックして選択し、メニューの［ツール］→ ［画像フォーマットの変換］から変換したい形式を選ぶ

変換された画像は画像表示部に表示されます。

● 画像を複数選択することもできます。(**P32**)

DVF 形式：　デジカムから取り込んだ画像形式です。BMP に対して約 1/7 のファイルサイズです。
BMP 形式：　Windows で使用する画像の一般的なフォーマット形式です。
JPEG 形式：　デジタルカメラで広く一般に使われているデータ圧縮方式です。
DVC JPEG 形式：　パナソニックのカードスロット付きのすべてのデジカムで再生できる JPEG 形式です。

● 画像を右クリックし、コンテキストメニューから［画像フォーマットの変換］を選択することもできます。

■［DVC JPEG の設定］

640 × 480 以外のサイズの画像を DVC JPEG 形式に変換する場合は、［DVC JPEG の設定］画面が表示されます。

1　［サイズの設定］と［余白部分のカラー設定］を設定後、［OK］ボタンをクリックする

● 画像が 640 × 480 より大きい場合の［サイズの設定］

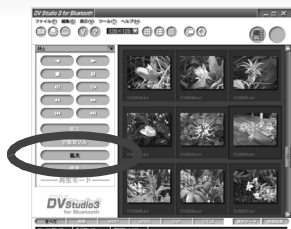
［640 × 480］：画像を 640 × 480 に変換します。
　［640 × 480 にあわせる］：640 × 480 に縮小します。
　［縦横比固定］　：縦横比を維持して 640 × 480 に縮小し、640 × 480 ではない部分に余白が入ります。余白の色は［カラーの変更］ボタンをクリックして［色の設定画面］で設定します。
　［640 × 480 で切り抜く］：画像の中心部分を基準に 640 × 480 に切り抜きます。
［サイズの変更なし］：サイズの変更を行いません。

● 画像が 640 × 480 より小さい場合の［サイズの設定］

［640 × 480］：画像を 640 × 480 に変換します。
　［640 × 480 にあわせる］：640 × 480 に拡大します。
　［縦横比固定］　：縦横比を維持して 640 × 480 に拡大し、640 × 480 ではない部分に余白が入ります。余白の色は［カラーの変更］ボタンをクリックして［色の設定画面］で設定します。
［サイズの変更なし］：サイズの変更を行いません。

画像の拡大

画像を選択して［拡大］ボタンをクリックすると、画像が拡大表示されます。拡大表示された画像は、保存形式を変えたり（BMP または JPEG 形式へ）、保存場所を変えることができます。

1

1　拡大する画像をクリックして選択し、DV 操作バーの［拡大］ボタンをクリックする

［Preview］ウィンドウが開き、画像が拡大表示されます。

- 画像を複数選択することもできます。**（P32）**

- ［拡大］ボタンの動作と画像のダブルクリックは同じ動作になります。両方とも関連づけられたアプリケーションが起動し、拡大表示をします（BMP や JPEG 形式の画像の場合）。DVF 形式の画像ファイルの場合、［Preview］が拡大表示をします。
- 拡大表示できる画像は DVF、BMP、JPEG 形式です。簡易画像（DCF 形式）を選択して［拡大］ボタンをクリックすると、デジカム上で元の画像が記録されているテープまたはカード位置を検索し、標準画像（DVF 形式）として取り込んだ後に拡大表示されます。**（P29）**

■ 画像の別名保存

［Preview］画面メニューの［ファイル］→［名前を付けて保存］を選択して画像の保存画面を表示させ、保存するフォルダ・保存するファイル名・保存形式を設定し、［保存］ボタンをクリックする

（JPEG 形式を選択した場合、画質指定の［JPEG オプション］画面が表示されます。画像品質を指定して［OK］をクリックしてください。）

- 複数の画像を同じ保存形式に変換するときは、［画像形式の変換］**（P35）**機能が便利です。

■［Preview］画面のメニュー

［ファイル］メニュー

［開く］：新たに別のファイルを開きます。
［名前を付けて保存］：画像を保存します。
［印刷］：画像を印刷します。
［プリンタの設定］：印刷するプリンタの設定をします。
［アプリケーションの終了］：Preview 画面を終了します

［編集］メニュー

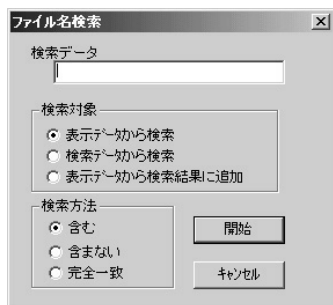
［元に戻す］：ひとつ前の操作を取り消します。
［コピー］：画像をコピーします。
［すべて選択］：画像全体を選択します。
［サイズ変更］：画像の表示サイズを変更します。

［設定］メニュー：DV スタジオ 3 メイン画面の［DV 画像の設定］をお読みください。（P34）

［ヘルプ］メニュー：Preview のバージョン情報が出ます。

画像の検索

ファイル名から検索する

設定した検索条件で、該当するファイルを検索します。
検索したいファイルが保存されているフォルダーを選択しておきます。

1 **メニューの［ツール］→［検索］→［ファイル名による検索］を選択する**
［ファイル名検索］画面が表示されます。

2 **各検索条件を設定し、［開始］ボタンをクリックする**

- **［検索データ］：検索したいファイルの名前を入力します。**

- **［検索対象］：検索の対象となるファイルを設定します。**

［表示データから検索］：
現在表示されている画像の中から検索
［検索データから検索］：
検索結果のファイルを対象にさらに検索
［表示データから検索結果に追加］：
現在表示されている画像の中から検索して前回の検索結果に追加

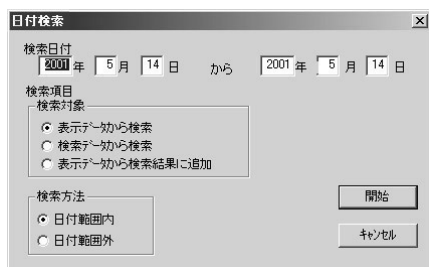
- **［検索方法］：検索方法を設定します。**

［含む］：
検索データで入力した文字列を含んだものを検索
［含まない］：
検索データで入力した文字列を含まないものを検索
［完全一致］：
検索データで入力した文字列と完全に一致したものを検索

- ［ツール］→［検索結果のクリア］を選択すると検索結果が解除されます。通常の画像一覧表示に戻すには、画面下部の［表示種類バー］（**P45**）で表示する画像の種類を選択してください。

操作編 II

日付から検索する

設定した日付や検索条件に該当するファイルを検索します。
検索したいファイルが保存されているフォルダーを選択しておきます。

1 **メニューの［ツール］→［検索］→［日付による検索］を選択する**
［日付検索］画面が表示されます。

2 **各検索条件を設定し、［開始］ボタンをクリックする**

● **［検索日付］：検索したいファイルの日付の範囲を入力します。**

● **［検索対象］：検索の対象となるファイルを設定します。**

［表示データから検索］：
現在表示されている画像の中から検索
［検索データから検索］：
検索結果のファイルを対象にさらに検索
［表示データから検索結果に追加］：
現在表示されている画像の中から検索して前回の検索結果に追加

● **［検索方法］：検索方法を設定します。**

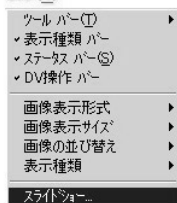
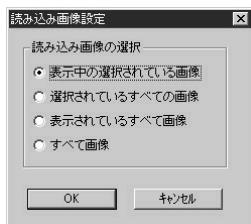
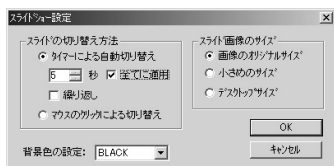
［日付範囲内］：
［検索日付］で入力した日付の範囲内で検索
［日付範囲外］：
［検索日付］で入力した日付の範囲外で検索

● ［ツール］→［検索結果のクリア］を選択すると検索結果が解除されます。通常の画像一覧表示に戻すには、画面下部の［表示種類バー］（**P45**）で表示する画像の種類を選択して下さい。

スライドショー

選択した画像を、パソコン画面にスライドショー表示（一枚ずつ順に画像が切り替わります）します。
スライドショーで使用できる画像は、BMP 、JPEG、DVF 形式です。

1

表示(V)
ツール バー(T)
✓表示種類 バー
✓ステータス バー(S)
✓DV操作 バー
画像表示形式
画像表示サイズ
画像の並び替え
表示種類
スライドショー...

1　メニューの［表示］→［スライドショー］を選択する

［読み込み画像設定］画面が表示されます。

- ツールバーの［ ］をクリックしてスライドショーを起動することもできます。

2

2　読み込み画像を選択して［OK］ボタンをクリックする

- 選択されている画像を読み込み画像として設定する場合は、あらかじめ画像を選択しておいてください。

［SlideShow］画面が表示されます。

3

3　各画像右上の秒数表示をクリックして［再生時間設定］画面で再生時間を設定し、［OK］ボタンをクリックする

- 再生時間の設定方法については**P40**をお読みください。

4

4　［SlideShow］画面の［設定］ボタンをクリックして［スライドショー設定］画面を表示させ、必要な設定をして［OK］ボタンをクリックする

- スライドショーの設定方法については **P40** をお読みください。

［SlideShow］画面にもどります。

5

5　［開始］ボタンをクリックする

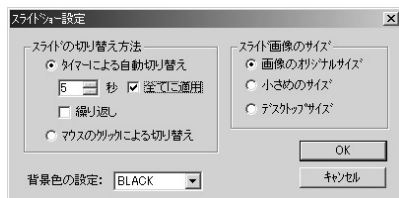
スライドショーが始まります。

- スライドショーを終了するには、画面の右上の［×］をクリックします。
- 画像表示部の画像を［SlideShow］画面にドラッグ・アンド・ドロップして追加することもできます。
- ［SlideShow］画面の画像をドラッグ・アンド・ドロップして順序を変えることができます。

■［再生時間設定］画面

[再生時間]　：[▲]、[▼] をクリックして再生時間を設定します。
[全てに適用]：設定した再生時間をすべての画像に適用します。
[キャンセル]：設定をキャンセルします。

● 表示画像のサイズによっては設定時間より長く表示されることがあります。
● スライドショーで設定できる再生時間は0〜99秒です。

■［スライドショー設定］画面

● **[スライドの切り替え方法]：スライド表示の画像を切り替える方法を設定します。**

[タイマーによる自動切り替え]　：設定した時間ごとに自動で画像が切り替わります。
　[繰り返し]　：チェックを入れるとスライドショーを繰り返します。
　[全てに適用]　：全ての画像に同じ再生時間を設定する場合は、チェックを入れて時間を設定します。

[マウスのクリックによる切り替え]：マウスでクリックするごとに画像が切り替わります。次の画面を表示するにはマウスを右クリックし、前の画像を表示するにはマウスを左クリックします。

● **[スライド画面のサイズ]：スライド表示する画像の大きさを選択します。**

[画像のオリジナルサイズ]　：画像のオリジナルサイズでスライドショー表示します。
[小さめのサイズ]　：小さめのサイズでスライドショー表示します。
[デスクトップサイズ]　：デスクトップのサイズでスライドショー表示します。

● **[背景色の設定]：**

[▼] をクリックして、スライドショー表示時の画像背景色を設定します。
[BLACK] [WHITE] [LIGHT GRAY] [GRAY] の 4 色から選択できます。

■［SlideShow］画面のメニュー

[ファイル］メニュー

[追加]　：SlideShow に画像を追加
[アプリケーションの終了]：SlideShow 画面を終了

[編集］メニュー

[元に戻す]　：ひとつ前の操作を取り消します。
[切り取り]　：画像を切り取ります。
[削除]　：画像を消去します。
[貼り付け]　：切り取った画像やコピーした画像を指定した場所に貼り付けます。

[設定］メニュー　：[スライドショー設定］画面を表示します。
[ヘルプ］メニュー：SlideShow のバージョン情報を表示します。

画像の印刷

画像を印刷する

選択した画像を印刷します。

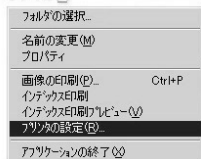
1 印刷する画像を選択する

2

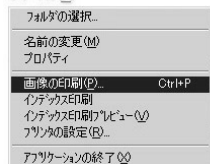
2 メニューの［ファイル］→［プリンタの設定］を選択する

プリンターの設定を行ってください。

● 設定はお使いのプリンターによって異なります。プリンターの説明書をお読みください。

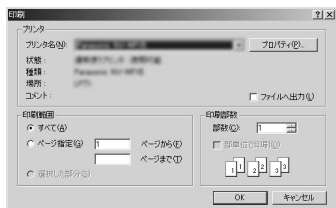
3

3 メニューの［ファイル］→［ 画像の印刷］を選択する

印刷設定画面が表示されます。

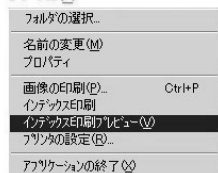
4

4 必要な設定をして［OK ］ボタンをクリックする

印刷が実行されます。

● ツールバーの［ 🖨 ］をクリックして印刷することもできます。

● 簡易画像は表示用の小画面データのため、印刷すると画質が粗くなることがあります。

表示画像一覧を印刷する
（インデックス印刷）

表示されている登録画像を一覧形式で印刷します。

1

1 **一覧印刷する画像を表示し、メニューの［ファイル］→［インデックス印刷プレビュー］を選択する**

印刷プレビュー画面が表示されます。

- 画面下の［表示種類バー］をクリックして印刷する画像を表示します。
- プレビュー画面で印刷内容を確認しない場合は、［ファイル］→［インデックス印刷］を選択してください。

2

2 **プレビュー画面を確認して［印刷］をクリックする**

［印刷］画面が表示されます。

3

3 **必要な設定をして［OK］ボタンをクリックする**

印刷が実行されます。

- 設定はお使いのプリンターによって異なります。プリンターの説明書をお読みください。

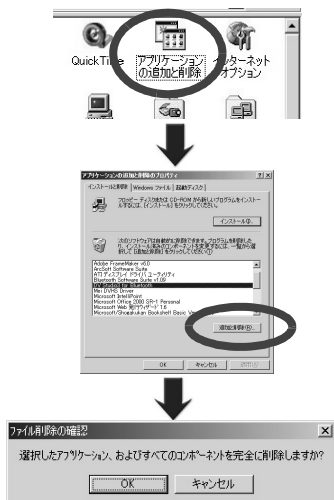
- ツールバーの［ ］をクリックしてインデックスを印刷することもできます。
- 簡易画像は表示用の小画面データのため、印刷すると画質が粗くなることがあります。

■ インデックス印刷プレビュー画面のメニュー

［印刷］　　：インデックスを印刷します。
［次ページ］：次のページを表示します。
［前ページ］：前のページを表示します。
［1 ページ］/［2 ページ］：1 ページ（または 2 ページ）単位で表示します。
［拡大］　　：画像表示を拡大します。
［縮小］　　：画像表示を縮小します。
［閉じる］　：インデックス印刷プレビュー画面を終了します。

ソフトが不要になったら（アンインストール）

ソフトが不要になったときは、以下の方法でアンインストールを開始してください。

■ ソフトウェアをアンインストールする

重要

Windows 上で起動しているすべてのソフト（ウィルス検出ソフトの様な常駐しているソフトも含む）は終了させておいてください。アンインストールできなくなることがあります。

1 **［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］から［アプリケーションの追加と削除］画面を開く**

2 **表示されているリストから削除するソフトを選択して（［DV Studio3 for Bluetooth］または［ArcSoft Software Suite］）、［追加と削除］ボタンをクリックする**

アンインストールがはじまります。

- 表示されている内容をよくお読みのうえ指示にしたがってアンインストールしてください。

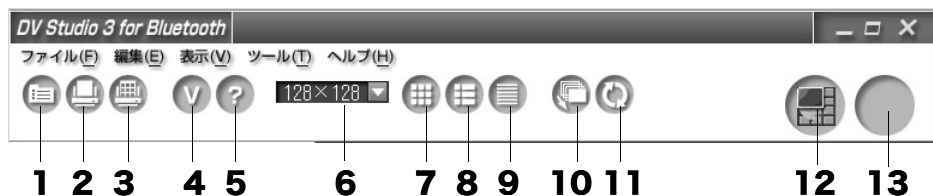
3 **アンインストールが終了したら、［完了］をクリックする**

アンインストールが完了しました。

操作編Ⅱ

表示バーについて

[ツールバー]

［表示］→［ツールバー］より表示するツールバーを選択できます。チェックを付けると表示、チェックをはずすと非表示になります。

● 標準バー

1 選択している画像のファイル情報・画像情報を表示します。

2 選択している画像を印刷します。**（P41）**

3 表示しているサムネイル画像を一覧形式で印刷します。**（P42）**

● ヘルプバー

4 DV スタジオ 3 のバージョン情報を表示します。

5 DV スタジオ 3 の PDF 形式の取扱説明書を起動します。

● 表示形式バー

6 ［▼］をクリックして、サムネイル表示の画像サイズを設定します。**（P30）**

7 画像をサムネイル形式で表示します。**（P30）**

8 画像をサムネイルとファイルデータ形式で表示します。**（P30）**

9 詳細情報の形式で表示します。この形式では画像は表示されません。**（P30）**

● ツールバー

10 スライドショーを起動します。**（P39）**

11 画像表示部の表示内容（フォルダー表示）を最新の情報に更新します。**（P31）**

● ランチャーバー

12 登録したいアプリケーションソフトのアイコンをドラッグ・アンド・ドロップします。初期設定で Preview Version1.0J が設定されています。別のアプリケーションを登録することもできます。

13 登録したいアプリケーションソフトのアイコンをドラッグ・アンド・ドロップします。付属の ArcSoft PhotoImpression 2000 などを登録すると便利です。

[表示種類バー]

画像表示部に表示する画像の種類を選択できます。

すべて　　：すべての画像を表示します。
画像　　　：DV スタジオ 3 でサムネイル表示できる形式の画像を表示します。
BMP　　　：BMP 形式（拡張子 .bmp）の画像を表示します。
JPEG　　 ：JPEG 形式（拡張子 .jpg）の画像を表示します。
DVF　　　：デジタルビデオ形式の画像を表示します。
TITLE　　：デジカムのタイトル画像（拡張子 .TTL）を表示します。
選択データ：選択した画像を表示します。
検索結果　：検索時に検出された画像を表示します。

[ステータスバー]

登録されている画像ファイル数、表示数、現在選択されている画像数などの情報を表示します。

ファイル数：選択中のフォルダに保存されているファイル数を表示します。
表示数　　：画像表示部に表示されているファイル数を表示します。
選択数　　：表示されているファイルの中で、選択されているファイル数を表示します。

コンテキストメニューについて

コンテキストメニューは、マウスポインタが画像表示部に表示された画像上にあるときに、右クリックすると表示されます。

[名前の変更]：画像のファイル名を変更します。**(P32)**
[プロパティ]：画像のファイル情報･画像情報を表示します。**(P46)**
[切り取り]　：画像を切り取ります。**(P33)**
[コピー]　　：画像をコピーします。**(P33)**
[削除]　　　：画像を消去します。**(P33)**
[貼り付け]　：切り取った画像や、コピーした画像を指定した場所に貼り付けます。**(P33)**
[画像フォーマットの変換]：画像形式を変換します。**(P35)**
[回転]　　　：左または右へ 90°、または 180°画像を回転します。**(P33)**
[開く]　　　：関連付けされたアプリケーションで画像を開きます。
[画像の検索]：画像の、テープやメモリーカードに記録されている位置を検索します。**(P29)**
[壁紙に設定する]：画像がパソコンのデスクトップの壁紙になります。

メニュー画面について

■［ファイル］メニュー

ファイル(F)
フォルダの選択...
名前の変更(M)
プロパティ
画像の印刷(P)... Ctrl+P
インデックス印刷
インデックス印刷プレビュー(V)
プリンタの設定(R)...
アプリケーションの終了(X)

［フォルダの選択］
表示する画像や、画像を保存するフォルダーを変更したいときは、［フォルダの選択］画面でフォルダーを選択します。
［新規作成］をクリックすると、新しいフォルダーを作成します。**（P32）**

［名前の変更］
選択した画像のファイル名を変更したいときは、［名前の変更］画面でファイル名を入力します。**（P32）**

［プロパティ］
選択した画像のファイル情報･画像情報を表示します。

［画像の印刷］
選択した画像を印刷します。**（P41）**

［インデックス印刷］
現在表示されている登録画像を一覧形式で印刷します。**（P42）**

［インデックス印刷プレビュー］
インデックス印刷のプリントイメージを表示します。**（P42）**

［プリンタの設定］
印刷するプリンタの設定をします。
（P41, 42）

［アプリケーションの終了］
DV スタジオ 3 を終了します。**（P16）**

■［編集］メニュー

編集(E)
元に戻す(U) Ctrl+Z
切り取り(T) Ctrl+X
コピー(C) Ctrl+C
削除(D) Delete
貼り付け(P) Ctrl+V
すべて選択(A) Ctrl+A
すべての選択を解除
選択切り替え

画像表示部に表示された画像を編集します。

［元に戻す］
ひとつ前の操作を取り消します。

［切り取り］
選択した画像を切り取ります。画像の位置を移動するには、切り取った画像を任意の位置に貼り付けます。**（P33）**

［コピー］
選択した画像をコピーします。**（P33）**

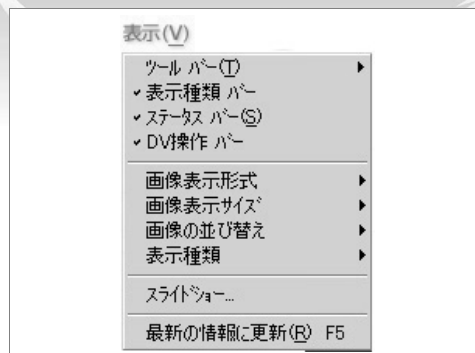
［削除］
選択した画像を消去します。消去された画像より後の画像は詰めて移動します。
（P33）

［貼り付け］
切り取った画像や、コピーした画像を指定した場所に貼り付けます。**（P33）**

［すべて選択］
表示されているすべての画像を選択します。**（P32）**

［すべての選択を解除］
指定された選択をすべて解除します。
（P32）

［選択切り替え］
選択した画像と選択していない画像を反転します。**（P32）**

■［表示］メニュー

［ツールバー］
表示するツールバーを選びます。チェックを付けると表示します。**（P44）**

［表示種類バー］
チェックを付けると［表示種類バー］を表示します。**（P45）**

［ステータスバー］
チェックを付けると［ステータスバー］を表示します。**（P45）**

［DV 操作バー］
チェックを付けると［DV 操作バー］を表示します。**（P17）**

［画像表示形式］
画像の表示方法を選択します。**（P30）**

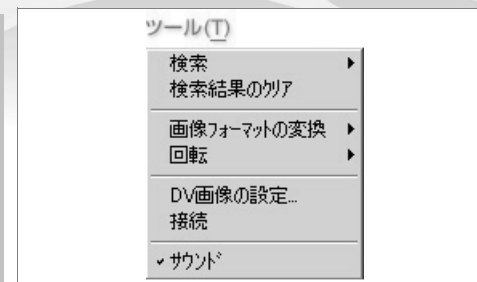
［画像表示サイズ］
サムネイル表示の画像サイズを選択します。**（P30）**

［画像の並び替え］
選択した条件で画像を並び替えます。**（P30）**

［表示種類］
表示する画像の種類を選択し、選択した種類の画像のみを表示します。**（P31）**

［スライドショー］
スライドショーを起動します。設定により画像表示の切り替え方法が選べます。**（P39）**

［最新の情報に更新］
画像表示部の表示内容（フォルダー表示）を最新の情報に更新します。**（P31）**

■［ツール］メニュー

［検索］
画像を検索します。**（P37, 38）**

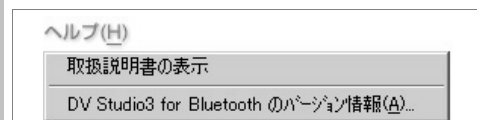
［検索結果のクリア］
検索結果を解除します。**（P37, 38）**

［画像フォーマットの変換］
画像形式を変換します。**（P35）**

［回転］
左または右へ 90°、または 180°画像を回転します。**（P33）**

［DV 画像の設定］
画像を BMP や JPEG などの形式に変換するときに有効な設定ができます。**（P34）**

［接続］
Bluetooth™ 接続がされている状態のパソコンとデジカムを接続します。**（P50）**

［サウンド］
チェックを付けるとボタンをクリックしたときなどに音を出します。

■［ヘルプ］メニュー

［取扱説明書の表示］
PDF 形式の取扱説明書が起動します。ご覧になるためには、Adobe Acrobat Reader 4.0 以上が必要です。**（P16）**

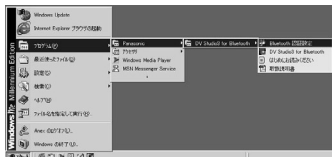
［DV Studio3 for Bluetooth のバージョン情報］
バージョン情報を表示します。

便利な情報

Bluetooth™ 認証設定をする

「Bluetooth™ 認証設定」は設定していなくてもパソコンと接続して DV スタジオ３を使うことができます。必要に応じて設定するようにしてください。

この「Bluetooth™ 認証設定」を設定しておくことにより、Bluetooth™ の特長である高いセキュリティを生かした機器間の接続をすることができます。例えば、他の Bluetooth™ 機器からの接続要求や通信信号の漏洩などを避けるのに効果があります。

1

2

3

5

6

設定する内容はデジカム用 Bluetooth™ アダプター、パソコン用アダプター、パソコン内に記録されます。一度設定しておくと次回からは設定する必要はありません。

パソコンとデジカム間の Bluetooth™ 接続が成立している状態で次のように操作してください。

1 **［スタート］→［プログラム］→［Panasonic］→［DV Studio3 for Bluetooth］→［Bluetooth 認証設定］を選択する**
［Bluetooth 認証設定］画面が表示されます。

2 **「取扱説明書（接続用）」の「デジカムと Bluetooth™ 接続する」(P20) で［Security］アイコンにドラッグ・アンド・ドロップした Bluetooth™ 通信用ＣＯＭポートを選ぶ**

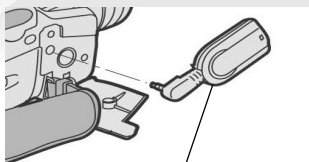
3 **［現在の設定情報を取得］をクリックする**
現在設定されている状態が表示されます。
● ［**現在の認証設定情報を取得に失敗しました**］が表示されたとき、上記「2」の Bluetooth™ **通信用ＣＯＭポート**の選択を変えてみてください。

4 **各種の設定をする**
設定内容については次ページをご覧ください。

5 **［設定］をクリックする**
［認証設定が完了しました］が表示されます。

6 **［OK］→［終了］をクリックする**

7 **Bluetooth™ 接続を切る**
「取扱説明書（接続用）」の「Bluetooth™ 接続を切る」(P21) をご覧ください

8

Bluetooth™ アダプター

8 **デジカム用Bluetooth™アダプターを抜き差しする**

設定内容が登録されました。
以後この設定が有効になります。

● DV スタジオ 3 を使うには再接続をしてください。次回からの接続では「Bluetooth™ 認証設定」に関する設定は必要ありません。

Bluetooth™ 認証設定の内容

● **［Security ポート］**

Bluetooth™ 接続するとき［Security］のアイコンにドラッグ・アンド・ドロップしたBluetooth™通信用COMポートを表示させます。(「取扱説明書（接続用）」をご覧ください)
［▼］をクリックして選びます。

● **［Bluetooth 機器名］**

接続している Bluetooth 機器の名称を表示します。デジカムは［Panasonic DV Camera］で登録されていますが書き変えることもできます。(30 字以内の英数字)

● **［認証設定］：チェックすると以下の二つが指定できます。**

［Bluetooth パスキー］:
パスワードを入力することができます。（16 字以内の英数字）
入力されたパスワードは「＊」表示されます。
［通信データを暗号化］：
チェックすると暗号化された信号で通信されます。

● ［現在の設定情報を取得］

クリックすると［Security 接続ポート］で表示されている COM ポートの設定されている状態が表示されます。

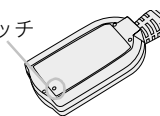
● ［設定］

入力した内容を設定します。

設定内容の初期化

パソコン用アダプター、Bluetooth™ アダプター、パソコンのうちどれかを交換した場合には設定内容を一度初期化して Bluetooth™ 認証設定をやり直してください。

1 **LED が消灯するまでリセットスイッチを押し続ける**

上記の設定内容が以下のように初期化されます。
Bluetooth 機器名：Panasonic DV Camera
認証：チェックマークなし（無選択）

困ったときは（Q&A）

Q1:　デジカムとパソコンの通信が途絶える。

A1-1: メニューの［ツール］→［接続］を選択して接続しなおしてください。
A1-2: DV スタジオ３を一度終了して、Bluetooth™ 接続をやりなおしてください（「取扱説明書（接続用）」をご覧ください）。そのあと、メニューの［ツール］→［接続］を選択して接続しなおしてください **(P47)**。
A1-3: OS の操作や、そのときに動作している他のプログラムによっては、デジカムとの通信がうまくいかないことがあります。そのようなときは、一度その操作やプログラムを終了させてから DV スタジオ 3 を起動してください。

Q2:　メガピクセルの画像や撮影モードで撮った高画質の画像をパソコンに取り込むと、画質が粗くなる。

A2-1: デジカムから取り込んだ画像は、メモリーカードに記録されたメガピクセル画像など、640 × 480 以上の解像度の画像でも、640 × 480 相当の解像度になります。画像取り込みの際はご確認ください。

Q3:　画像取り込み中に「画像の取り込みに失敗しました」と表示が出て取り込みが出来ない。

A3-1: デジカム側の電源が切れていないか確認してください。
A3-2: テープへの録画状態によって取り込めない場合があります。画像の取り込み位置を少しずらして実行してみてください。
A3-3: DV スタジオ 3 を一度終了し、再起動してから実行してみてください。

その他

■ **DV スタジオで表示できるファイル形式**

・BMP ファイル（24 ビット以外や圧縮タイプの BMP を除く）
・JPEG ファイル
・DVC JPEG ファイル
・TITLE ファイル
・DV 形式のファイル
　DVF:DV スタジオ 3 で作られた DV 形式のファイル
　DCF: 表示用の簡易画像ファイル
　DV スタジオ 1、2 で作られた DV 形式のファイルも使用できます。

■ **DVP 形式のファイル**

DVP は DV スタジオ３で取り込んだ画像を管理する情報が書かれたファイルです。
削除または移動しないでください。

便利な情報

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書 (裏表紙をご覧ください)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間
※「本体」にはソフトウェアの内容は含みません

■ 修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

電話　フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）

FAX　フリーダイヤル 0120-878-236

365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

拠点	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

拠点	所在地	電話
青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

拠点	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-7725

中部地区

拠点	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

拠点	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

拠点	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

拠点	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

拠点	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎(0997)53-5101

沖縄地区

拠点	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

ユーザーサポートについて

Panasonic のソフトウェアとアダプターに関して

画像取り込みとデジカムをコントロールする機能を持つ DV Studio Version 3.0J for Bluetooth™ と機器に接続するアダプターなどに関するお問い合わせは、下記のお客様ご相談センターへお願いいたします。

ナショナル／パナソニック お客様ご相談センター

TEL フリーダイヤル 0120-878-365

FAX フリーダイヤル 0120-878-236

365 日／受付：am8:00 ～ pm8:00

E-mail 対応先　http://www.panasonic.co.jp/avc/home/cgi-bin/avc_cs_a.cgi?03

URL　http://www.panasonic.co.jp/avc/video/

アークソフトのソフトウェアに関して

画像加工・編集ソフトウェア ArcSoft PhotoImpression™ 2000、ArcSoft Panorama Maker™ 2000、ArcSoft PhotoMontage™ 2.0 のユーザーサポートについては、アークソフトに業務委託しております。お問い合わせは、下記のアークソフトジャパンコールセンターへお願いいたします。

アークソフトジャパンコールセンター

TEL　03-3834-5256

FAX　03-5816-4730

E-mail　arcsoft@mds2000.co.jp

URL　http://www.mds2000.co.jp/arcsoft

電話受付時間：am10:00 ～ pm12:00, pm1:00 ～ pm6:00（土日祝を除く）

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
  (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本書をご持参ご提示いただきお申しつけください。
  (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くのご相談窓口へご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くのご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
  (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
  (ロ) お買い上げ後の輸送、落下などによる故障及び損傷
  (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧などによる故障及び損傷
  (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
  (ホ) 一般家庭以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
  (ヘ) 本書のご提示がない場合
  (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
  (チ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料はお客様の負担となります。また、出張修理等行った場合には、出張料はお客様の負担とさせていただきます。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口については P53 をご参照ください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くのご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」(P52) をご覧ください。

※ This warranty is valid only in Japan.

持込修理

Panasonic

パナソニックBluetooth™アダプターキット

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は裏面をご参照ください。

品　　番		VW-BT1C
保証期間		お買い上げ日から 本体1年間（ただし、CD-ROMは除く）
※お買い上げ日		年　　月　　日
※お客様	ご住所	
	お名前	様
	電　話　（　　　）　－	
※販売店	住所・氏名	
	電話　（　　　）　－	

松下電器産業株式会社

AVCネットワーク事業グループ
〒571-8505　大阪府門真市松生町1番4号
TEL (06) 6909-1021

システム事業グループ
〒571-8503　大阪府門真市松葉町2番15号
TEL (06) 6901-1161

ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。

Panasonic

Bluetooth™アダプターキット

取 扱 説 明 書（接続用）

品番 VW-BT1C

本説明書には Bluetooth™ PC カードの使用方法についてのみ記載されています。
必ず「取扱説明書（DV スタジオ 用）」といっしょにお読みください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

MultiMediaCard™

もくじ

安全上のご注意　（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

分解や改造をしない

分解禁止

火災、感電、故障につながります。

● **修理や内部の点検は販売店にご相談ください。**

航空機内および周囲に電波障害が発生する場所では、ＰＣカードをＰＣカードスロットへ装着しない

禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離す

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

磁気カードなどを PC カードに近付けない

禁止

カードなどの内容が消去されるおそれがあります。

⚠警告

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではＰＣカードをPCカードスロットへ装着しない。また、医療用電気機器を近付けない

禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くではＰＣカードをＰＣカードスロットへ装着しない

禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合はPCカードが取り付けられているPCの電源を切る

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

雷が鳴り出したら、本機の金属部などに触れない

接触禁止

落雷すると、感電につながります。

水をかけたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

内部に水が入ると、火災・感電・故障につながります。

- **水が入ったときは、販売店にご相談ください。**
- **雨天、降雪中、海岸、水辺など、水がかかりやすいところで使うときは、ぬらさないようにご注意ください。**

満員電車の中などの混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるので、ＰＣカードをＰＣカードスロットへ装着しない

禁止

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

警告

引火・爆発のおそれのある場所では PC カードを PC に装着しない

禁止

引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発・火災につながります。

自動車など、乗り物を運転しながら使わない

禁止

事故の誘発につながります。

● **歩きながら使うときも、周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。**

PC カードスロットを破損させない

禁止

無理なねじり、加工、重いものの下敷きなどは、カードスロット破損の原因となり、火災・感電につながります。

対電磁波保護がされていない自動車内では使用しない

禁止

安全走行を損なうおそれがあります。

● **自動車販売店に対電磁波保護が十分にされているか確認してください。**

注意

PC カードの上に重いものを置いたり、乗ったりしない

禁止

重量で外装ケースが変形し内部部品が破損すると、火災・感電のおそれがあります。

電波障害の発生する場所では使わない

禁止

静電気の発生する場所、電子レンジの近辺など、電波が届かないことがあります。

⚠注意

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多いところ、振動が激しいところで使わない

禁止

水やほこりが入ったり、振動などで内部部品が損傷すると火災・感電のおそれがあります。

- ３年に一度くらいは、販売店に点検をご相談ください。(特に湿度が高くなる梅雨期の前に点検をすると効果的です)
- 費用についても、そのときお確かめください。

使用中や使用直後の PC カードに触れない

禁止

高温になることがあり、やけどのおそれがあります。

急激な温度変化を与えない

禁止

結露が生じ、故障、誤動作につながります。

金属類を内部に入れない

禁止

ショートし、内部部品が破損すると、火災・感電のおそれがあります。

極端に低温になるところに放置しない

禁止

故障、誤動作につながります。

高温になるところに放置しない

禁止

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60 ℃以上）になります。絶対に放置しないでください。熱で外装ケースが変形し内部部品が破損すると、火災・感電のおそれがあります。

使用上のお願い

用途制限について

●本製品は人の生命に直接関わる装置等（*1）を含むシステムに使用できるよう開発・制作されたものではないので、それらの用途に使用しないこと。

*1: 人の生命に関わる装置等とは、以下のものを言います。
（生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器）

●本製品を、人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステム (*2) に使用する場合は、システムの運用、維持、管理に関して、特別な配慮 (*3) が必要です。

*2: 人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステムとは、以下のようなものを言います。
（原子力発電所の主制御システム、原子力施設の安全保護システム、その他安全上重要な系統及びシステム）
（集団輸送システムの運転制御システムおよび航空管制制御システム）

*3: 特別な配慮とは、当社技術者と十分な協議を行い、安全なシステム（フール・プルーフ設計、フェール・セーフ設計、冗長設計する等）を構築することを言います。

機器認定表示について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。

・本製品を分解 / 改造すること
・本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと

本製品の使用上の注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止し電波干渉を避けてください。

3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：お客様相談センター 0120-878-365（フリーダイヤル）

2.4GHz 帯を使用している他のネットワークが近くで通信を行っている場合、通信性能が低下することがあります。

表示記号の説明

① 2.4GHz 帯を使用する無線設備を表します。
②変調方式が「FH-SS 方式」であることを表します。
③想定される与干渉距離が 10m 以下であることを表します。
④ 2,400MHz 〜 2,483.5MHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを表します。

本製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。
This product can not be used in foreign country as designed for Japan only.

はじめに

この取扱説明書は、DV STUDIO Version 3.0J for Bluetooth™ を使うための Bluetooth™ PC カードによる接続・設定方法について説明しています。
DV STUDIO Ver3.0J for Bluetooth™ については「取扱説明書（DV スタジオ用）」をご覧ください。

- 本キットに同梱の Bluetooth™ PC カードは、Bluetooth SIG 社の認証を受けた製品ですが、Bluetooth™ PC カードおよび Bluetooth™ Software Suite と、本キット以外の Bluetooth™ 製品との互換性については、保証いたしません。また、本キットで使用する Generic Access、Sevice Discovery、Serial port 以外のプロファイルに関するご質問は、お受けいたしかねますのでご了承ください。
- Microsoft® Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- Pentium® 、Celeron™ は Intel Corporation の各国での登録商標もしくは商標です。
- Bluetooth™ 商標は、Bluetooth SIG 社（アメリカ）によって所有され、松下電器産業株式会社に許可された商標です。
- その他、記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標もしくは商標です。
- ご使用のパソコンの使用環境などにより本説明書の説明内容・画面と実際の内容・画面が一致しないことがあります。あらかじめご了承ください。
- パソコンの基本的な操作、用語については説明しておりません。パソコンに付属の説明書などをお読みください。
- 本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
- 本書では、パナソニック製のデジタル静止画端子付デジタルビデオカメラと、デジタルビデオレコーダーをデジカム、Bluetooth™PC Card を PC カード、DV STUDIO Version 3.0J for Bluetooth™ を DV スタジオ 3 と記載します。

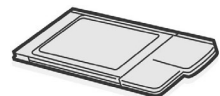
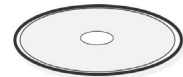
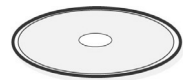
内容物の確認

- **CD-ROM (DV STUDIO Version 3.0J for Bluetooth™)**
  DV STUDIO Version 3.0J for Bluetooth™
  ArcSoft PhotoImpression™ 2000
  ArcSoft Panorama Maker™ 2000
  ArcSoft PhotoMontage™ 2.0
  Adobe® Acrobat® Reader™ 5.0
  取扱説明書（DV スタジオ用）［PDF ファイル］
  取扱説明書（接続用）［PDF ファイル］

- **CD-ROM (Bluetooth™ Software Suite)**
  Bluetooth™ Software Suite
  Bluetooth™ PC Card 用ドライバー
  Bluetooth™ Ethernet Adapter 用ドライバー

- **Bluetooth™ PC カード（パソコン用アダプター）**
  パソコンの PC カードスロットに接続し、Bluetooth™ アダプターを取り付けたデジカムと無線通信をします。

- **デジカム用 Bluetooth™ アダプター**

- **取扱説明書**
  DV スタジオ用、接続用

特長 / 仕様

特長

「Bluetooth™ PC カード」は、パソコンの PC カードスロットに装着し、デジカムのデジタル静止画端子と接続した専用の Bluetooth™ アダプターを使って、無線でパソコンとデジカムとの接続を行います。DV STUDIO Version 3.0J for Bluetooth™ との組み合わせでテープや SD メモリーカード、マルチメディアカード、デジカムの静止画像をパソコン上に取り込むことができます。

Bluetooth™ Software Suite（Bluetooth™ **通信制御ソフト**）
Bluetooth Neighborhood
Bluetooth™ 機器の検出や通信に必要な各種の設定ができます。

※ DV STUDIO Version 3.0J for Bluetooth™ の使い方については**「取扱説明書（DV スタジオ用）」**をご覧ください。

※ DV STUDIO Version 3.0J for Bluetooth™ についての商品に関する情報は、ホームページをご覧ください。
http://www.panasonic.co.jp

- 対象機種:Bluetooth™ アダプター対応Panasonicデジタルビデオカメラ*(日本国内向　NTSC専用)
  *2001 年６月以降発売商品　NV-DS88K、DS88PK、MX1000、MX2500、EX21 (2001 年８月現在)

仕様

■ **Bluetooth™ PC カード（パソコン用アダプター）**

カード仕様：	PC Card Standard TYPE Ⅱ準拠
通信方式：	Bluetooth™ Ver.1.1
サポート Profile：	Generic Access、Service Discovery、Serial port、Dial-up networking、FAX、Generic Object Exchange、Object Push、File Transfer and Browing、LAN Access
通信距離：	10m（Class2 準拠）
外形寸法：	116 × 54 × 5 mm

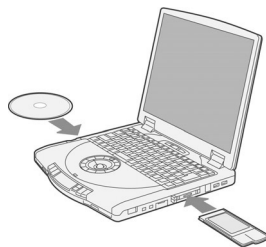
- デジカム用 Bluetooth™ アダプターについては「取扱説明書 (DV スタジオ用)」の仕様 (P11) をご覧ください。

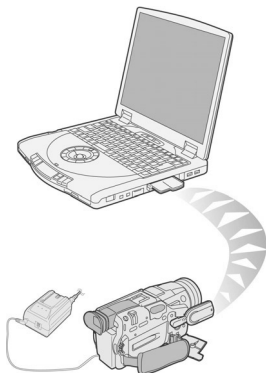
デジカムとの Bluetooth™ 接続まで

■ DV スタジオ 3 を使う前に行なう接続の操作の流れを簡単に紹介します。

はじめて使うときに行ってください。

ソフトウェアをインストールします

- PC カードのためのドライバーをインストールします。
  (P12 ～)
- Bluetooth™ Software Suite をインストールします。
  (P15 ～)
- DV スタジオ 3 をインストールします。
  「取扱説明書（DV スタジオ用）」(P14) をご覧ください。
- Bluetooth™ 通信用 COM ポートを追加 (P18) します。

Bluetooth 接続をします

- Bluetooth™ アダプターと PC カードの取り付けを
  します (P19)
- デジカムと Bluetooth™ 接続をします。(P20)

DV スタジオ 3 を使う

「取扱説明書（DV スタジオ用）」をご覧ください。

接続する前に

ドライバーをインストールする

はじめてご使用になる場合、PC カードのためのドライバーをインストールします。
以下の２つのドライバーをインストールします。
（インストール画面は OS の種類によって異なります）

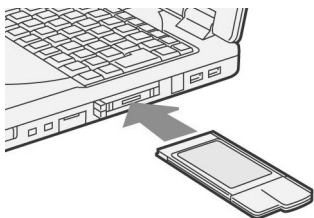
Bluetooth PC Card
Bluetooth Ethernet Adapter

準備

パソコンの電源を入れておいてください。

重要

Windows 上で起動しているすべてのソフト（ウィルス検出ソフトの様な常駐しているソフトも含む）は終了させておいてください。インストールできなくなることがあります。

1

1 PC カードをパソコンに接続する

しばらくすると PC カードを検出していることを知らせる画面が表示されます。

- パソコンの PC カードスロットに確実に接続してください。
- カードスロットの位置はパソコンにより異なります。パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- PC カードの接続部分にごみ･ほこりなどついていないことを確認して、無理な力が加わらないように注意しながら確実に接続してください。

2

2 ［ドライバの場所を指定する］をチェックし、［次へ］をクリックする

3 CD-ROM［Bluetooth™ Software Suite］をパソコンに入れる

4 ［検索場所の指定］をチェックし、［CD-ROM ドライブ名 :¥Drivers¥win9x］を入力して［次へ］をクリックする
（例→ D:¥Drivers¥win9x）

［使用中のデバイスに適切なドライバを検索する］にチェックがついていることを確認します。

4

［win9x］以外のフォルダは指定しないでください。
［NT4］、［W2k］などのフォルダを指定してもインストール後の動作は保証されません。

5

5 ［次へ］をクリックする

Bluetooth™ PC Card のドライバーのインストールがはじまります。

- ファイルが見つからない旨の画面が表示されることがあります。［ファイルのコピー元］に［CD-ROM ドライブ名 :\Drivers\win9x］が指定されていることを確認し、［OK］ボタンをクリックしてインストールを続けてください。

6

6 ［完了］をクリックする

Bluetooth™ PC Card 用ドライバーがインストールされました。

準備

7

7 ［ドライバの場所を指定する］をチェックし、［次へ］をクリックする

Bluetooth™ Ethernet Adapterのドライバーのインストールに移ります。

8

8 ［検索場所の指定］をチェックし、［CD-ROM ドライブ名 :¥Drivers¥win9x］を入力して［次へ］をクリックする

（例→ D:\Drivers\win9x）

［使用中のデバイスに適切なドライバを検索する］にチェックがついていることを確認します。

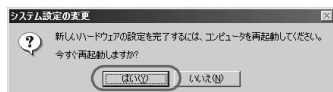
［win9x］以外のフォルダは指定しないでください。
［NT4］、［W2k］などのフォルダを指定してもインストール後の動作は保証されません。

9 ［次へ］をクリックする

- ファイルが見つからない旨の画面が表示されることがあります。［ファイルのコピー元］に［CD-ROMドライブ名 :\Drivers\win9x］が指定されていることを確認し、［OK］ボタンをクリックしてインストールを続けてください。

10 ［次へ］をクリックする

ドライバーのインストールがはじまります。

11 ［完了］をクリックする

12 ［はい］をクリックする

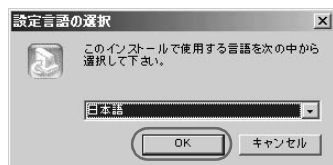
パソコンが再起動し、ドライバーのインストールが終了します。

- ドライバーソフトがご不要になった場合は、**P24** をお読みください。

Bluetooth™ Software Suite をインストールする

Bluetooth™ 接続をコントロールするためのソフトウェア［Bluetooth Software Suite］をインストールします。画面に表示されるソフトウェアのバージョンは実際の表示内容とは異なることがあります。

重要

Windows 上で起動しているすべてのソフト（ウィルス検出ソフトの様な常駐しているソフトも含む）は終了させておいてください。インストールできなくなることがあります。

1 **CD-ROM［Software Suite］をパソコンに入れる**

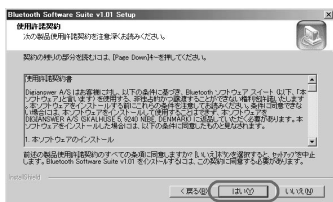
自動でセットアッププログラムが起動し、［設定言語の選択］画面が表示されます。

セットアッププログラムが起動しないときは、CD-ROM 内の［Setup.exe］をダブルクリックしてください。

2 **［日本語］が選択されていることを確認し、［OK］をクリックする**

2

3 **［次へ］をクリックする**

3

4 **［使用許諾契約書］を読み、［はい］をクリックする**

4

5

6

7

8

5 **［次へ］をクリックする**

インストール先のフォルダーを変更する場合は表示されている内容にしたがって変更の操作をしてください。

6 **［次へ］をクリックする**

インストールが開始されて、しばらくすると［リリースノート］画面が表示されます。

7 **［次へ］をクリックする**

8 **［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］をチェックし、［完了］をクリックする**

パソコンが再起動し、ソフトウェアのインストールが終了します。

● インストールの終了後、必ずコンピューターの再起動を行ってください。そのままではソフトウェアは正常に動作しません。

Bluetooth Neighborhood の起動

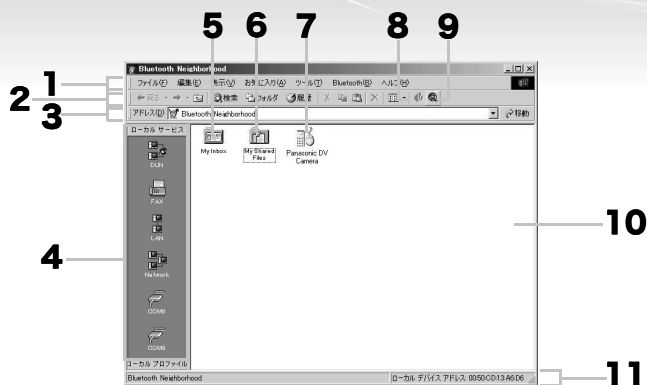
1 **デスクトップにある［ Bluetooth Neighborhood ］アイコンをダブルクリックする**

Bluetooth Neighborhood が起動し、メイン画面が表示されます。

Bluetooth Neighborhood を終了する

1 **［ファイル］→［アプリケーションの終了］を選ぶ**

Bluetooth Neighborhood の右上の［×］をクリックして終了することもできます。

Bluetooth Neighborhood の画面について

1 メニューバー
Bluetooth™ のメニューが加えられた Windows の標準メニューです。

2 ツールバー
Bluetooth™ のボタンが加えられた Windows の標準ツールバーです。

3 アドレスバー
一覧表示で表示している内容（名前と階層）を表示しています。

4 ローカルサービス
対応している通信の種類を表示します。DV スタジオ 3 での接続では COM ポート（COM8, COM9 など）だけを使用します。

5 My Inbox
DV スタジオ 3 での接続では使用しません。

6 My Shared Files
DV スタジオ 3 での接続では使用しません。

7 Bluetooth™ デバイス（機器）
検出した Bluetooth™ デバイス（機器）です。DV スタジオ 3 の接続で使用するのは［Panasonic DV Camera］だけです。（このアイコンはデジカム検出後に現れます **(P20)**。 アイコン名は変更することもできます。詳しくは「取扱説明書（DV スタジオ用）」(P48) をご覧ください）

8 切断ボタン
クリックすると Bluetooth™ 通信を切断します。**(P21)**

9 デバイス検出ボタン
クリックすると Bluetooth™ デバイス（機器）の検出を開始します。**(P20)**

10 一覧表示
検出されたデバイス（機器）などを表示します。

11 ステータスバー
選んでいる Bluetooth™ デバイス（機器）のアドレス（ローカルデバイスアドレス）や通信状態を表示します。

準備

Bluetooth™ 通信用 COM ポートの追加

Bluetooth™ では無線を使うため、現実に通信ケーブルを接続するためのポートは必要ありません。Bluetooth™ 通信用 COM ポートをソフトウェアで作り、パソコンに認識させて通信を行います。

- はじめてご使用になるときは Bluetooth™ 通信用 COM ポートを 2 本追加してください。
- 関連プロファイルが Serial Port Profile にのみに設定された COM ポート以外は Bluetooth™ 通信用 COM ポートとして使用できないことがあります。**(P26)**

1 ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を選択する

［コントロールパネル］が開きます。

2 ［Bluetooth Configuration Tool］をダブルクリックする

［Digianswer Bluetooth 構成ツール］が表示されます。

3 ［追加］をクリックする

［新しい COM ポートの追加］が表示されます。

4 ［追加］をクリックする

［既存のCOMポート］に新しいCOMポートが追加されます。

［追加する COM ポートの選択］の番号が［既存の COM ポート］と重複していないことを確認してください。
［関連プロファイル］が［Serial Port Profile］になっていることを確認してください。

- DV スタジオ 3 で使用することができる Bluetooth™ 通信用 COM ポート番号は 1 ～ 20 までです。

5 上記手順「3」「4」をもう一度実行する

［既存の COM ポート］に新しい COM ポートが 2 つ追加されます。(［COM］に付く番号は図とは異なることがあります)

6 ［OK］をクリックする

7 コントロールパネルを閉じてからパソコンを再起動する

- Bluetooth Neighborhood が起動している場合は終了してください。

これでBluetooth™通信用COMポートの追加は終了です。

Bluetooth™ 通信用 COM ポートの追加後、必ずパソコンの再起動を行ってください。

2

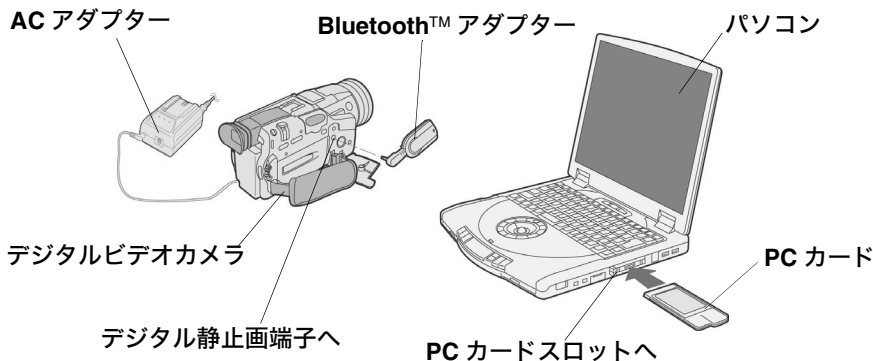
3

4

Bluetooth™ 接続をする

デジカムとパソコンを Bluetooth™ 通信で接続します。

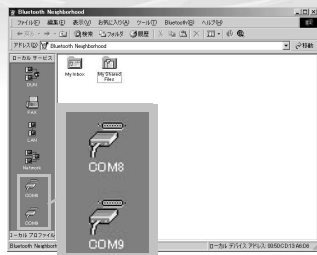
Bluetooth™ アダプターと PC カードの取り付け

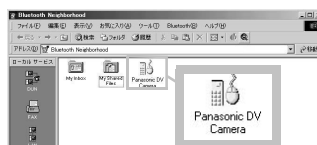
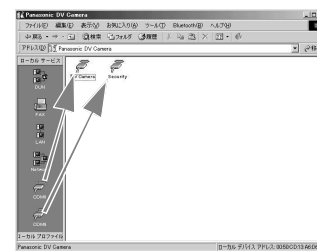
Bluetooth™ アダプターと PC カードの接続をする前に、必ずパソコンとデジカムの電源を入れてください。

Bluetooth™ アダプターと PC カード間の距離は 20cm ～ 10m の範囲にしてください。通信の到達距離は障害物などの条件で変わります。

1 Bluetooth™ アダプターと PC カードを図のように取り付ける

PC カードをパソコンに接続するとタスクバーに［ ］と［ ］のアイコンが現れます。

- パソコン側で Bluetooth™ 接続用 ＣＯＭポートを２本増設しておいてください。**(P18)**
- Bluetooth™ アダプターキットを使用するときは、デジカムの電源として、AC アダプター（別売）をご使用ください。また、ノートパソコンと接続する場合もバッテリーを使わず、必ず AC アダプターをお使いください。
- ［DV スタジオ 3］をインストールしておいてください。（詳しくは「取扱説明書（DV スタジオ用）」をご覧ください）
- ドライバーとソフトウェア［Bluetooth™ Software Suite］のインストールをしておいてください。（→ **P12,P15**）
- Bluetooth™ アダプターは確実に接続し、接続時に LED が点灯することを確認してください。（詳しくは「取扱説明書（DV スタジオ用）」をご覧ください）
- ［Bluetooth Neighborhood］と［DV スタジオ 3］以外のソフトは立ち上げないでください。
- パソコンは省電力モードやスクリーンセイバーの設定をはずしてください。

1

2

3

4

デジカムと Bluetooth™ 接続する

通信可能なデジカム（Bluetooth™ 機器）を検出し、Bluetooth™ 通信で接続します。

1 デスクトップにある［ Bluetooth Neighborhood ］アイコンをダブルクリックする

Bluetooth Neighborhood が起動します。

- 「Bluetooth™ 通信用 COM ポートの追加」で追加した COM ポートのアイコンが［ローカルサービス］に表示されていることを確認してください。
- Bluetooth™ Software Suite インストール後、初めてご使用になる場合は必ずパソコンを再起動してください、COM ポートが表示されない、または使用できないことがあります。

2 ツールバーの［ ］をクリックする

検索がはじまり、一覧表示に［Panasonic DV Camera］アイコンが追加されます。

- すでに *［Panasonic DV Camera］のアイコンがある場合もこの操作を行ってください。
- * アイコン名は「Bluetooth™ 認証設定」により変えることができます。詳しくは「取扱説明書（DV スタジオ用）」(P48) をご覧ください。

3 ［Panasonic DV Camera］をダブルクリックする

［DV Camera］と［Security］の 2 つのアイコンが現れます。

4 ［ローカルサービス］の COM ポートのアイコンを［DV Camera］にドラッグ・アンド・ドロップする

アイコンの形状が変わり、Bluetooth™ 通信の接続が成立したことを示します。

- ［Security］アイコンへのドラッグ・アンド・ドロップは「Bluetooth™ 認証設定」をする場合に行ってください。詳しくは「取扱説明書（DV スタジオ用）」(P48) をご覧ください。

- 「Bluetooth™ 認証設定」を設定すると、Bluetooth™ の特長である高いセキュリティを生かした機器間の接続をすることができます。詳しくは「取扱説明書（DV スタジオ用）」(P48) をご覧ください。
- 接続が成立してからDVスタジオ3を起動してご使用ください。（「取扱説明書（DV スタジオ用）」をご覧ください）

Bluetooth™ 接続を切る

1

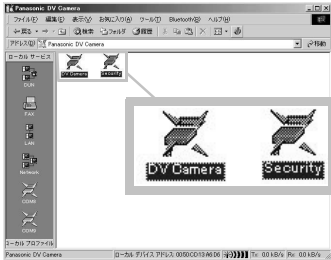
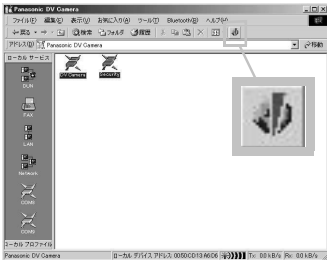
2

1 **キーボードの［Shift］キーを押しながら［DV Camera］と［Security］アイコンをクリックして選ぶ**

- ［DV Camera］または［Security］のどちらかのアイコンだけで接続されている場合は、接続されているアイコンだけを選んでください。
- DV スタジオ 3 を終了しておいてください。

2 **ツールバーの［ ］をクリックする**

Bluetooth™ 通信の接続が切断されます。

- 再接続するには（**P20**）の手順「4」をご覧ください。

接続

PC カードを安全に外す

パソコンを起動させたまま PC カードを取り外すと、エラーダイアログが表示されることがあります。
必ず以下の操作で PC カードを取り外してください。

1　タスクトレイの［ ］アイコンをダブルクリックする

● Bluetooth™ 通信の接続は切断しておいてください。（**P21**）

ハードウェアの取り外しダイアログが出ます。

2　［Bluetooth PC Card］を選択し、［停止］をクリックする

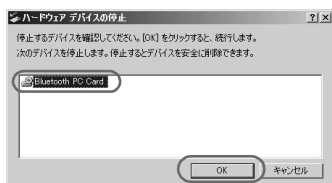
2

3　［Bluetooth PC Card］が選択されていることを確認し、［OK］をクリックする

3

4　［OK］をクリックする

安全に PC カードを取り外すことができます。

4

● OS の設定によっては、タスクトレイに安全に取り外すためのアイコンが表示されません。

PC カードの使用状態表示について

動作状態の表示

PC カードを接続した状態でタスクバーに表示されるアイコン［ ］（Bluetooth™ 制御センターアイコン）は、PC カードの使用状態を表しています。

- ［ ］通信可能の状態
- ［ ］通信不可能の状態
- ［ ］Bluetooth™ 機器と通信中

動作状態の切り替え

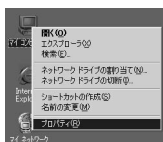
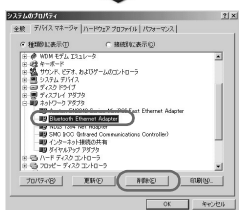
PC カードを接続したままの状態では、デジカム以外の Bluetooth™ 機器から検出されたりリンクされたりすることもあります。そのようなことを避けるために PC カードを停止させることができます。

- タスクバーの Bluetooth™ 制御センターアイコンを右クリックして、表示されるメニューを選びます。

表示されるメニュー
［Bluetooth 使用不可（電波放射の停止）］または
［Bluetooth 使用可能（電波放射の開始）］

ソフトやドライバーが不要になったら（アンインストール）

ソフトやドライバーが不要になったときは、以下の方法でアンインストールを開始してください。PC カードはパソコンの PC スロットに装着しておいてください。

■ ドライバーをアンインストールする

2

3

4

5

6

重要

Windows 上で起動しているすべてのソフト（ウィルス検出ソフトの様な常駐しているソフトも含む）は終了させておいてください。アンインストールできなくなることがあります。

1 デスクトップの［マイコンピュータ］を右クリックして表示されるメニューの［プロパティ］を選んで［システムのプロパティ］画面を開き、［デバイスマネージャ］のタブをクリックする

- PCカードはパソコンのPCスロットに装着しておいてください。

2 ［ネットワーク アダプタ］→［Bluetooth Ethernet Adapter］をクリックして選び、［削除］をクリックする

3 ［OK］をクリックする

Bluetooth Ethernet Adapter のドライバーがアンインストールされます。
［システム設定の変更］の画面が表示されます。

4 ［いいえ］をクリックする

- ［はい］はクリックしないでください。クリックするとパソコンが再起動して、Bluetooth Ethernet Adapter のドライバーが再度インストールされます。

5 ［Bluetooth］→［Bluetooth PC Card］をクリックして選び、［削除］をクリックする

PC カードのドライバーが消去されます。

6 PCカードを取り外してパソコンを再起動する

ドライバーのアンインストールが完了した状態でパソコンが起動します。

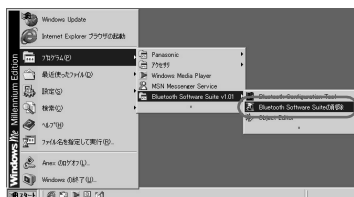
■ ソフトウェアをアンインストールする

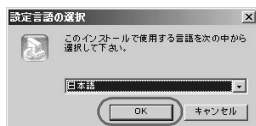
重要

Windows 上で起動しているすべてのソフト（ウィルス検出ソフトの様な常駐しているソフトも含む）は終了させておいてください。アンインストールできなくなることがあります。

1

2

3

1 **［スタート］→［プログラム］→［Bluetooth Software Suite］→［Bluetooth Software Suite の削除］を選択する**

［設定言語の選択］の表示が出ます。

2 **［OK］をクリックする**

［ファイル削除の確認］の表示が出ます。

3 **［OK］をクリックする**

ソフトウェアのアンインストールが開始されます。

4 **［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］が選ばれているのを確認して［完了］をクリックする**

ソフトウェアのアンインストールが完了しました。

便利な情報

困ったときは（Q&A）

Q1:　PC カードを接続しても使えない（パソコンが認識しない）。

A1-1: ドライバーをインストールしてください。**(P12)**

A1-2: ［コントロールパネル］の［ハードウェアの追加］を起動してインストールをしてください。

A1-3: デバイスマネージャーの PC カードの部分にドライバー名が正しく表示されているか確認してください。ドライバー名「Bluetooth PC Card」

デバイスマネージャーを見るには：
デスクトップの［マイコンピューター］を右クリックして表示されるメニューの［プロパティ］を選ぶと［システムのプロパティ］が表示されます。次に［デバイスマネージャー］のタグをクリックします。

Q2:　パソコンとデジカム間の接続（Bluetooth™ 接続）ができない。

A2-1: パソコンとデジカム間の距離が 10m 以内になるようにしてください。また、20cm より近いと通信できないことがあります。

Q3:　検索を実行すると「Panasonic DV Camera」以外のアイコンが現れた。

A3-1: 検索可能な距離内にデジカム以外の Bluetooth™ 機器があります。DV スタジオ 3 での接続には使うことができませんので、検出されても接続しないでください。

A4-2: 「Panasonic DV Camera」のアイコン名は変更することもできます、詳しくは「取扱説明書（DV スタジオ用）」(P48,P49) をご覧ください。

Q4:　検索を実行すると複数の「Panasonic DV Camera」のアイコンが現れた。

A5-1: 検索可能な距離内に複数の Bluetooth™ アダプターを装着したデジカムがあります。DV スタジオ 3 では一度に扱えるデジカムは一台だけです。（一番番号の小さい COM ポートに接続されます）

Q5:　デジカムと PC カードの距離を離しすぎて通信が途絶えた。

A6-1: 通信可能な距離に置き、再度接続の作業を行ってください。**（P20）**

Q6:　検索を実行しても「Panasonic DV Camera」のアイコンが現れない。

A6-1: デジカムの電源を入れてください。

A6-2: Bluetooth™ アダプターを確実にデジタル静止画端子に装着してください。

A6-3: パソコンは再起動、デジカムは一度電源を切って再度電源をいれてから検索を実行してください。

Q7:　COM ポートの関連プロファイルの設定がどうなっているか確認したい。

A7-1: ［Digianswer Bluetooth 構成ツール］で確認したい COM ポートを選ぶとその COM ポートの関連プロファイルが表示されます。Serial Port Profile だけにチェックマークが付いていれば Bluetooth™ 通信用 COM ポートとして使用できます。

- ［Digianswer Bluetooth 構成ツール］は［コントロールパネル］内の［Bluetooth Configuration Tool］アイコンをダブルクリックすると表示されます。

Q8:　Bluetooth™PC カードを 接続していると LAN が使えない。

A8-1: PC カードを手順にしたがって取り外し **(P22)**、再起動してください。

Bluetooth™ とは

Bluetooth™ は、新しいワイヤレス通信技術です。
小規模なワイヤレス通信技術の世界規格として、パソコンやコンピューター周辺機器、その他いろいろな機器を結ぶことが将来的には可能になると言われています。

Bluetooth™ では 1 台のマスターと、最大 7 台のスレーブを無線ネットワークで接続し、データをやりとりすることができます。
（Panasonic Bluetooth™ アダプターキットの場合、パソコン側がマスター、デジカム側がスレーブとなり、DV スタジオを使って 1 対 1 の通信を行います）

使用周波数は 2.4GHz 帯で免許の必要がありません。通信距離は Class2 準拠の場合、10m 程度です。（実際には障害物など通信条件によって変わります）

また、他の Bluetooth™ 機器からの接続要請を受け入れない特性も持たせることができるなど、ケーブル無しでもより確実でセキュリティの高いデータ通信を実現させるための工夫がされています。

（詳しくは市販の解説書をご覧ください）